

茶	一七七七五七	絹	四七九四三
綿製品	一四〇四二一	油類	三七一八七
黃麻	一二七二〇〇	飲料品	三三〇二〇
其他	六八九四六七	其他	五九九九一六
計	二三九三〇七八	計	一六九〇三四一

次に主要取引國を擧ぐれば左の如し。

國名	輸出	輸入	合計
英 本 國	六九九四	七六九九	一四六九三
日 本	二九一四	三三五二	六二六六
合 衆 國	三三〇六	一六一四	四九二〇
埃 及	一四七四	一六三	一六三七
ジャバ・ボルネ オ・スマトラ	三八四	一一六二	一五四六
錫 蘭	一〇一一	二九三	一三〇四
海峽植民地	七〇二	五六〇	一二六二

印度と我國との貿易は近來長足の進歩をなし輸出入總額四億圓を超え我が全貿易

参考解説
日印重要貿易品
價格

額の一割餘を占め我が貿易對手國中亞米利加合衆國支那に次ぎ第三位にあり我が國は印度の貿易對手國中英本國につき第二に位す。我が國へは主として綿を輸出し我が國よりは綿製品羽二重マチ鐵銅を輸入す。綿は多くはボンベーより積出され我が綿絲の原料となる。

参考解説
1. 日印重要貿易品價格

日本輸出品	價格	日本輸入品	價格
綿織物	二九五〇七	棉花	二八七九三〇
マチ	九七一〇	鐵(塊及錠)	五五七〇
羽二重	七五七七	麻類	一三一九
綿メリヤス肌衣	六八九六	米	一〇二二
硝子及同製品	四三八七	皮革類	八三七
麥酒	三九二七	鉛	五〇九
木材	二〇七一	ゴム	四二二
銅	一三八〇	其他	二〇八八八

其 他 五一四二三

計 一一六八七八

計 三一九四七七

我が輸出品中綿織物綿メリヤス肌衣は久しく歐洲産と角逐せしが、世界戦役に際し漸次歐洲産に代りて販路を擴張し今や印度の需要の大部を供給するに至れり。羽二重は印度人パーシー人の纏頭用として珍重せられ次第に輸出額を増加し、マツチは廉價なるの故を以て瑞典産を壓倒し、印度各地に需要せらるゝに至れり。我が國への輸入品中その首位にある棉花は、我が國への輸入總額の九割を占め、我が綿絲紡績業は主としてこれによりて發達し、その纖維太きを以て我が國はこれを太絲に紡ぎて、東洋各地に輸出す。

2. 印度の鑛産 印度は面積大なるに比して鑛産多からず。金石炭滿俺はその主なるものにして、金はデカン高原のマイソール州・ハイダラバード州等に多く、石炭はベンガル州最も多くして、アサム地方・マイソール州等にこれに次ぐ。滿俺は近時その産額著しく増加し、世界總産額の約二分の一を占め、マイソール州を主産地とす。

3. 印度の工業 印度はもと農業國にして、工業品はすべてこれを英本國に仰ぎ、英

印度の鑛産

印度の工業

都邑

【三 都邑】

イ. カルカッタ

國加工品の消費國たる觀ありしが近時工業漸く發達し、ボンベーマドラス附近の綿紡織業、カルカッタ附近の黃麻紡織業等はその最も重要なものにして、その他西北部カシミール地方のカシミヤ織平原地方の砂糖、皮革製造等有名なり。
グリ河口を溯ること約八十哩、約三十二里の左岸にある大河港にして、水陸交通の要地、印度平野の門戸をなし、貿易盛に行はれ、黃麻、米、皮革、阿片、茶等を輸出し、綿織物、砂糖機械等の輸入多く、印度貿易の大半を支配し、我が郵船會社もこの地に定期航路「カルカッタ航路」を開きて、彼我の貿易に便し、我が總領事館の所在地なり。この地もと大正元年迄印度の首府たりし所にして、人口百二十二萬、印度第一の大都會なり。

ロ. ベナレス ガンジス河の中流に臨み、人口二十萬。印度教の靈地にして、寺院の數千五百に近く、これ等の寺院に巡拜するもの年々三百萬を超え、一切の不淨と罪惡とが祓はると信じて、ガンジス河に入りて齋戒沐浴す。その光景實に壯觀なり。ベナレスの東方にガヤあり。附近のブダガヤは釋迦成道の地として、佛徒の尊信深く、ここに有名なる菩提樹及び高塔あり。

西北利亞

参考解説
印度の宗教

参考解説

印度の宗教 印度は宗教頗る複雑にして、殆ど世界の各宗教を網羅し、あらゆる信仰迷信行はる。中にて最も勢力あるは印度教にして國民の約七割はこれを奉じ、ベナレスはその靈地として年々巡拜するもの三百萬を超ゆ。回教これに次ぎ、國民の約二割はこれを奉じ、デカン高原のアラハバードその中心なり。佛教はこの國を起源地とすれども、今はセイロン島を除けば信徒甚だ少し。今各宗教の信徒数を擧ぐれば次の如し。

印度教	二一七三三八 <small>千人</small>	回教	六六六四七 <small>千人</small>
佛 教	一〇七一一	基督教	三八七六
シク教	三〇一四	ジャイナ教	一一四八
バルシ教	一〇〇	猶太教	二〇
其他	一一二八八		
合計	三二五五二		

挿繪

釋迦の遺蹟

この畫はガヤの近傍ブダガヤにある大塔なり。ブダガヤはベンガル州にあり、

挿繪

古昔繁盛なる一都會なりしが、今や數十軒の貧民を有する寂寞たる一小村落にして、釋迦の遺蹟として名高し。歴史の傳ふる所によれば釋迦は二十九歳の時迦比羅城を捨て、摩揭陀國の山林に入り、苦行六年道を修めしもその效なく、更にブダガヤに至り菩提樹下に坐して始めて解脱の法を大悟し、佛教を開きたりと。さればこの地は佛教の靈蹟として佛徒の尊信深く、年々巡拜者少からず。

この畫に見ゆる塔は赤色の砂岩を以て造られ、その基脚は長さ各四十八尺中央の大塔は高さ百八十尺あり、中に釋迦成道の像を安置す。始め阿育王釋迦の靈蹟を後世に傳へんが爲にこの地に一精舎を建てしが、後西曆紀元第六世紀の初め、波羅門の僧アマラ此の大塔を建設せりと云ふ。

ハ・デリー ガンジス河の上流に位し、英領印度の首府にして、内地商業盛に、殊に棉花の取引多く、又織物・金銀細工・寶石細工等の工業行はれ、市況殷賑なり。人口約二十三萬。この地往昔莫臥兒帝國の首府たりし所にして、一時は二百餘萬の人口を有せる壯麗なる一大都市なりき。

ニ・ボンベール デカン高原の西岸なるマラバル海岸にあるボンベール島の東南隅にあり。人口約百萬、印度第二の大都會なり。港内廣くして水深く、印度半島との間には鐵

道を設けて連絡す。世界屈指の良港にして東西船舶の來往絶ゆることなく、カルカッタと並び稱せらるる印度の大貿易港にして、棉花、米、麥、阿片等を輸出し、綿織物、砂糖、鐵器、織物等を輸入す。就中棉花の取引最も盛にして、印度棉花の大部はこの港より輸出す。この地又近來綿絲紡績業を以てあらはる。我が日本郵船、大阪商船等の諸會社は特にボンペー航路を開き、我が國綿絲の原料たる棉花の運搬に従事す。我が領事館の所在地なり。

ホ・マドラス　デカン高原の東岸にあり、人口五十二萬、印度第三の都會なり。カルカッタ・ボンペーに次ぐ貿易港なれども、港は沙濱にして灣入なく、僅かに防波石堤により大波を防ぐに止り、東北季節風の時には、船舶の碇泊困難なり。

ヘ・セーロン島　印度半島の東南海中に横はり、面積四千二百方里、人口四百六十餘萬。米、茶、珈琲、ココ椰子、黒鉛、寶石類を産し、就中茶は世界屈指の産額を有し、その大部は歐米各地に輸出せらる。黒鉛の産また世界第一の稱あり。

コロンボは島の西南岸にある商港にして、茶の輸出盛に、又東西交通の衝に當るを以て船舶の出入多く、我が日本郵船會社、歐洲航路の汽船もこゝに寄港す。人口二十五萬。
【四、沿革】　今より四千年の昔中央亞細亞に起りたるアリヤ人の一派、東南に移りて

沿革

印度に入り、土着のドラビダ族を南方に逐ひ、印度平野に占據し、漸次全土に廣まれり、これ今日の印度人の祖先なり。印度人は古代に於て夙く開明の域に達し、佛教の開祖釋迦の如き偉人も出でしが、後國勢次第に衰へ、西紀千五百二十八年には莫臥兒帝國の爲に征服せられぬ。これより先き西紀千四百九十八年、葡萄牙人バスコ・ダ・ガマ、アフリカの南端を周航して印度のカリコに達して、以來葡萄牙はゴアを根據地として東洋に勢力を振ひしが、ついで和蘭、佛蘭西、英吉利等の諸國陸續東洋に來航し、各東印度商會を設立し、競うて印度貿易に従事したり。就中英國の東印度商會はクライブ・ヘースチングス等の力によりて勢力を得、次第に莫臥兒帝國の領土を蠶食し、西紀千八百五十年代には全くその政權を掌握したり。西紀千八百五十八年には東印度商會の政權を本國政府に收め、爾來印度は英國の領土となりしが、明治十年時の英國女皇ビクトリヤは印度皇帝の位に即き、總督をカルカッタに派遣し、全印度の政務を行はしめ、以て今日に至れり。總督府の所在地は大正元年カルカッタよりデリーに移されたり。

参考解説

印度の政治

1. 印度の政治　中央には印度總督府あり、その長官は印度總督と稱し、皇帝に親任せられ、任期五年なり。總督府は内務、外務、財務、商工、務、農務、軍務、陸軍、經理、工務、司法

の九部に分れ、各所管の事務を分掌す。

地方は直轄部及び藩部に分れ直轄部は更に十五州に分ち、ボンベール・マドラス・ベンガル等の三州には英國皇帝に勅任せられたる知事を置き、その地の州には副知事又は行政長官を置いてこれを管治せしむ。藩部は土人州とも稱せられ、各藩王の所管にしてその數六百七十五、その廣さ全印度の五分の二を占む。藩王をして、内政を自治せしむ。

ネパール・ブータン

2. ネパール・ブータン ヒマラヤ山地にネパール・ブータンの二小國あり。前者は面積九千方里、人口約五百萬。後者は面積三千三千方里、人口約二十五萬。孰れも名は獨立國にして酋長これを管治すれども、實は英國の勢力範圍に屬す。
3. 英領以外の地 印度には半島の沿革及びその附近處々に佛蘭西・葡萄牙に屬する地域あり。

英領以外の地

佛領 || シャンデルナゴル・ヤナオン・ボンヂシユリ・カリカル・マエ……面積約三十方里、人口約三十萬。

日印の關係

4. 日印の關係 印度は世界古文明國の一として、その佛敎及び美術は夙に我が國

に傳來し、我が文化の發達に影響する所大なりしが、現時に於ては日英攻守同盟の範圍に屬するのみならず、交通上貿易上に兩國は密接なる關係を有す。

貿易上 || 印度の外國貿易の項參照。
交通上 || 我が國より印度に達する航路及び寄港地左の如し。

日本郵船會社

(イ) カルカタ航路 横濱—神戸—門司—香港—新嘉坡—彼南—蘭貢—カルカタ。

(ロ) ボンベール航路 神戸—門司—上海—香港—新嘉坡—マラッカ—彼南—コロンボ—ボンベール。

(復航の時は門司上海を省く)。

大阪商船會社

(イ) ボンベール航路 神戸—門司(又は三池)—香港—新嘉坡—ボートスウラテン
ハム—彼南—コロンボ—ボンベール。

以上の外郵船の歐洲航路、商船の南米航路の汽船は共にコロンボに寄航す。

教授上の注意

西比利亞

- 一、亞細亞洲總論に於て既に授けたる事項との連絡に充分注意すべし。
- 二、日本との關係に注意せしむべし。

八 印度支那(二時間)

教授要旨

教授要旨

印度支那半島の地理の概要を授け、英佛兩國の勢力及びこの地方と我が國との關係の深きを知らしむ。

教具

教具

亞細亞洲全圖、東南亞細亞地方地圖、外國米チークコブラの標本、主なる都會の寫眞又は繪葉書類。

教材解説

教材解説

位置・氣候・地勢・產物

【一 位置・氣候・地勢・產物】 1. 位置 印度支那は亞細亞洲の東南に出でたる印度支那半島の地にして、その南方に延びたる狹長なる地域を馬來半島とす。南支那海及びベトナム灣に夾まれ、西北は印度のアッサム地方、北より東北は支那本部の雲南、廣西、廣東の三省に接す。南北七百五十里、東西三百里、面積約十二萬方里あり。

ロ。氣候 北の一部を除き地域の大部熱帯に屬するを以て、氣候は熱帶性にして、一般に温度高く、季節は乾濕の二季に分れ、五月以後五箇月間は濕季にして、西南季節風多量の雨を齎し、ベンガル灣に面する地方は世界最多雨地の一たり。十月以後七箇月間は乾季にして、東北季節風流行し、空氣著しく乾燥す。

ハ。地勢 崑崙山脈より分岐して西藏の東南部を走れる山脈は更に南走してこの地域に入り、印度支那山系と稱せられ、その末數條に分れて南北に連亘し、その間に數多の縱谷を造り、メナム、メーコン、イラワヂー等の諸河この谷を南流し、交通の便を與ふ。

參考解説

參考解説

メナム河

1. メナム河 メナム河(湄南河)は源をシヤムの北境に發し、ビルマより來れるメビン等の支流を容れ、國の西部を南流し、下流に至り分流、タチンを岐ち、本流はバンコク、

パクナム等を過ぎ、シヤム灣に注ぐ。長さ凡そ三百十里。流れ緩かにして舟楫の便に富み、下流には肥沃なるシヤム平野開く。

メーコン河

2. メーコン河 メーコン河(湄公河)は源を西藏の東部に發し、支那本部の雲南省に

入り、瀾滄江と稱せられ、ビルマの東部を過ぎ、暹羅カンボヂヤ、交趾支那等を灌溉して南支那海に注ぐ。長さ約千五百五十里。下流に廣大なる交趾支那平野あり、又舟

イラワヂー河

産物

樹の便あれども急流なるを以て下流の一部に過ぎず。
 3. イラワヂー河 源を西藏に發し、ビルマの中央を南下し、下流に大三角洲を造り、
 數多の分流に分れてマルタバン灣に注ぐ。全長約五百里。水量多きを以て運輸
 灌溉の便多く、流域は世界重要な米産地なり。

【一、産物】 諸川の流域及び海岸の平野は地味肥沃にして、且高温多雨なるを以て、亞
 細亞洲屈指の米産地をなし、サイゴン、盤谷、ラングーン等の諸港より盛にこれを輸出し、
 世界の市場に供給する米の大部は實に本域の産出に係る。我が國も亦この地方より
 米の供給を受くること年々少からず、外米と稱せらるゝは概ねこの地方の産なり。隨
 つて近年我が汽船はこの地方の諸港に航路を開きて交通貿易に便す。今最近五箇年
 間の我が國への外米輸入額を擧ぐれば左の如し。(一擔は百斤にして凡そ四斗一升とす)

年次	支那	英領印度	佛領印度	暹羅	其他	合計
大正四年	數量(千擔) 50 價格(千圓) 150	33 64	104 253	64 253	6 20	222 595
大正五年	數量(千擔) 40 價格(千圓) 150	8 20	31 250	24 250	7 20	142 500

大正六年	大正七年	大正八年
數量(千擔) 25 價格(千圓) 110	數量(千擔) 110 價格(千圓) 308	數量(千擔) 33 價格(千圓) 113
2 55	40 57	6 26
44 133	50 100	12 24
97 398	11 35	25 89
110 755	26 121	22 110

我が國が最近五箇年に輸入したる外國米は二千七百二十六萬擔にして、其の内二千
 五百萬擔はこの地方より輸入したるものなり。以てこの地方の米産が如何に我が國
 と密接なる關係あるかを知るを得べし。
 この地方の北部の山地より平野にかけてはチーク、黒檀等の良材を出し、又南部の馬
 來半島には護謨の栽培多し。

参考解説

我が國印度支那間航路

我が國印度支那間航路 印度南洋方面航路の汽船中印度支那の各港に寄港す
 るもの少からず。その重なるもの左の如し。
 (1) 日本郵船會社印度南洋航路—神戸—門司—バタビヤ—サマラン—スラバヤ

區分

— カルカタ—蘭貢—彼南—新嘉坡—上海—門司—神戸
 (ロ) 大阪商船會社印度南洋航路—横濱—名古屋—大阪—神戸—長崎—ジャバ—新嘉坡—蘭貢—カルカタ—新嘉坡—神戸—大阪—横濱
 (ハ) 三菱商會社南支南洋航路—神戸—門司—香港—新嘉坡—ジャバ—新嘉坡—盤谷—西貢—香港—門司—神戸

【二、區分】 政治上域内を分ちてビルマ暹羅佛領印度馬來聯邦海峽植民地等とす。面積、人口左の如し。

區劃	面積	人口
佛領印度支那	四三〇〇〇 方里	一五〇〇 萬人
暹羅獨立國	三三〇〇〇	八八〇
英領印度支那	四〇〇〇〇	一三〇〇
領土	二五〇	七八
海峽植民地	四四〇〇	一二八
馬來聯邦	三九〇〇	九三
馬來諸州		
保護地		

ビルマ

暹羅

【三、ビルマ】 一、總説 ビルマは印度支那半島の西部にあり。東は支那暹羅に接し、西は印度のアサム地方に連る。この地方はもと獨立の一王國なりしが、明治十九年(一八八六年)英國に滅されてその領土となり、今や英領印度の一州として支配せらる。地勢上高地ビルマ(北部)と低地ビルマ(南部)との二部に分れ、高地ビルマはイラワヂ・サルウィン兩河の上流地方にして、ビルマ全面積の三分の二を占め、雨量極めて多くして、樹木繁茂し木材の産多し。低地ビルマは兩河の下流地方並に海岸平野を含み米産地として名高し。

ロ、都邑 ラングーン(蘭貢)はイラワヂ河の三角洲上に立ち、水陸交通の要地に當り、米及び木材はこゝに集められて、或は精白され、或は挽材せられて各地に輸出せらる。人口約三十萬。マンダレーはイラワヂ河の上流にあり。ラングーンとの間に汽船の上下盛にして、人口約十九萬。舊ビルマ王國の首府たりし所。

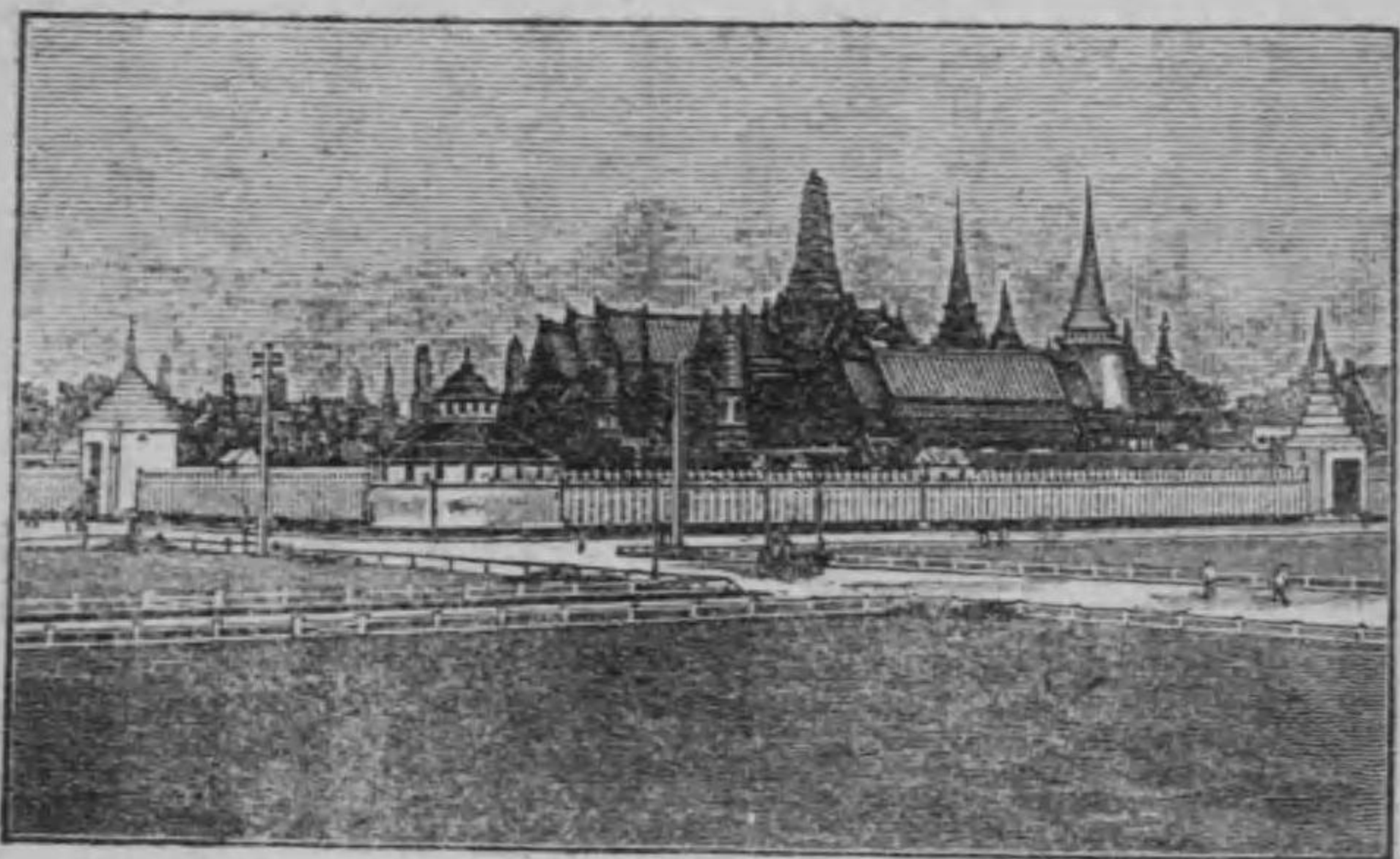
【四、暹羅】 一、總説 暹羅は印度支那半島の中央部を占め、面積我が國の八割なれども、人口は僅かに九分の一に充たず。メナム河國の中央を流れ、その下流地方は肥沃なる平野よく開け、米の産多く、北部山地にはチークその他の木材を産す。この國はもと國勢旺んなる一王國なりしが、近年東より佛國、西より英國の壓迫を受

け領土次第に縮少し、國運頗る衰頽せり。されど近時國民大に覺醒し、我が國及び歐米

先進國の文明に倣ひて國政を改良し、産業を奨勵し、熱心國力の恢復に努めつゝあり。

ロ・都邑 首府盤谷はメナム河口より約八里の上流に位し、人口六十五萬。暹羅の門戸をなし、米及び木材の輸出多し。我が公使館領事館の所在地。外港をバクナムと稱し、メナム河口にあり。

ハ・日本との關係 文祿の頃我が國が暹羅に交通を開きしより、我が御朱印船は屢々この地に來りて貿易を營み、又我が國人のこの國に移住するもの多く、一時はその數數百人に及び、この國に一大日本街を建設し、中には山田長政の如く武勇を現せしものありき。然るに徳川氏の鎖國政策のため、兩國の交通絶え、通商やみ、關係



暹 羅 の 王 宮

の認むべきものなきに至れり。

明治二十二年に至り、通商條約新に成り、ついで公使を互遣し、二百餘年間杜絶せる舊交復舊し、兩國の關係次第に親密を加へ、今やこの國は我が國人によりて政治、教育、産業等の刷新發達を圖り、又彼我の貿易も年々進歩し、米、チーク等を我國に輸出し、綿織物、絹織物、マツチ等を我國より輸入す。

挿・繪 亞細亞東南部に於ける水上生活(盤谷附近の地)

熱帶地方にては遠淺の灣内又は河中に住居を構へて水上生活をなすもの多し。これ水上は (一)屋内に居ながら漁業を爲し得ること (二)比較的涼しくして健康に適すること (三)昆蟲、猛獸、毒蛇の害を避け得ること (四)汚物の放棄に便なること等數多の便宜あるによるなり。

本圖は盤谷は北方約十八里にあるアユチャの一部なり。アユチャはメナム河畔に位せる古き町にして、徳川時代の初期我が國人の多數移住して一大日本街を建てしはこの地にして、現今人口五萬餘市街は概ね水上にあり。運河彼岸の前面に並べる屋根付家屋は水上の浮家にして、又中央小船の密集せるは野菜及び果物市なり。

挿繪

挿繪

挿繪 盤谷の市街

盤谷はメナム河の下流に跨れる鯛斗形の都會にして、頭部は上流に在り、又市は河の兩岸に跨れるも主要にして且大なる部分は左岸にあり。

本圖は盤谷市街の最も主要なる部分を示せるものにして中央を流るゝはメナム河、圖の右より左に向つて流る。市街の最も繁華なる部分は圖に見ゆる河の屈曲點の前方、地平線に近き右半なり。又地平線の左方に三角形の尖塔四個立ち並べるは王城なり。航洋汽船の入り來るは圖中河の屈曲點以下なり、されば本圖に見ゆる河は盤谷港の一部を示すものなり。河岸に煙突の見ゆるは概ね精米所なり。

佛領印度支那

【五、佛領印度支那】

イ 總説

佛領印度支那は印度支那半島の東部を占め、地勢上三部に分る。北部はソンコイ河の下流地方、南部はメーコン河の下流地方を占め、孰れも地味肥沃なる平野にして、農耕盛に行はれ、米、綿、砂糖、煙草等を産し、就中米は最も重要なものにして、年二回の收穫あり、年々多額の輸出をなし、トンキン米、サイゴン米として聞ゆ。中部は土地礫礫にして肥沃の地少く、農耕に不適當にして、物産に乏し。

ロ 都邑 ハノイ(河内)はソンコイ河下流の三角洲上に位し、人口十五萬。佛領印度支

参考解説
佛領印度支那と
日本との關係

那の首府にして、總督の駐劄地なり。水陸交通の要衝に當り、鐵道四方に通ず。その西北に向ふものは支那の雲南、雲南省に、東北は南寧、廣西省に、東は海防に、南は順化を経て、ツーランに到る。外港ハイフォンはソンコイ河の一支流の河口に位し、米の輸出多く、我が領事館の所在地なり。

サイゴン(柴棍)はメーコン河の一支流サイゴン河に沿ひ、人口約五萬。佛領印度支那第一の商港にして、米の輸出最も盛に、柴棍米として甚だ有名なり。この港はまた軍港を兼ね、佛國東洋艦隊の根據地なり。

ハ 沿革 この地方にはもと安南、カンボヂヤ等の獨立國ありて、且清國の勢力盛なりしが、西曆千八百二年安南の阮福映が佛國の宣教師の力を藉りて國內を統一し、安南國王となりし以來、佛國は次第にこの地方に勢力を得、千八百六十二年には交趾支那の地を獲得し、爾後東藩、安南、東京、老撾等を漸次侵略し、これ等を合せて佛領印度支那と稱し、總督を河内に置きてこれを統治す。交趾支那、東京は佛國の領土、東藩、安南、老撾は保護地なり。この地方は佛國の植民地中最も重要なものなり。

参考解説

佛領印度支那と日本との關係

この地方も暹羅と同じく、徳川時代の初期には

海峽殖民地馬來聯邦

我が御朱印船の往來繁しく、我が國と通商盛なる地方なりしが、鎖國の政策行はるゝや殆ど交通杜絶したり。近時交通貿易上の關係漸く密になり、この地方より我が國へ米綿等を輸出し、我が國より綿織物その他を輸入す。殊に米は最も重要な貿易品にして、我が國に來る外國米の約七割はこの地方の産なり。

【六、海峽殖民地馬來聯邦】 イ海峽殖民地 馬來半島の南部シンガポール・ピナン・デングス・ウエスレー等の總稱にして、英吉利の直轄殖民地なり。ゴム・コブラ・錫の産多く、この地方の重要輸出品たり。

首府シンガポール(新嘉坡)は馬來半島の尖端に近き同名の小島の南岸に位し、東西交通の要地に當り、自由港にして香港と同じく通過貿易盛に行はれ、米綿絲綿織物、砂糖、石炭等を輸入し、大正七年〓八億一千六百萬圓、錫・ゴム・香料等を輸出す、大正七年〓七億一千九百萬圓。我が汽船の寄港にして總領事館の所在地。人口三十二萬、その七割は支那人なり。海峽殖民地知事の駐在地なり。

参考解説

ピナン

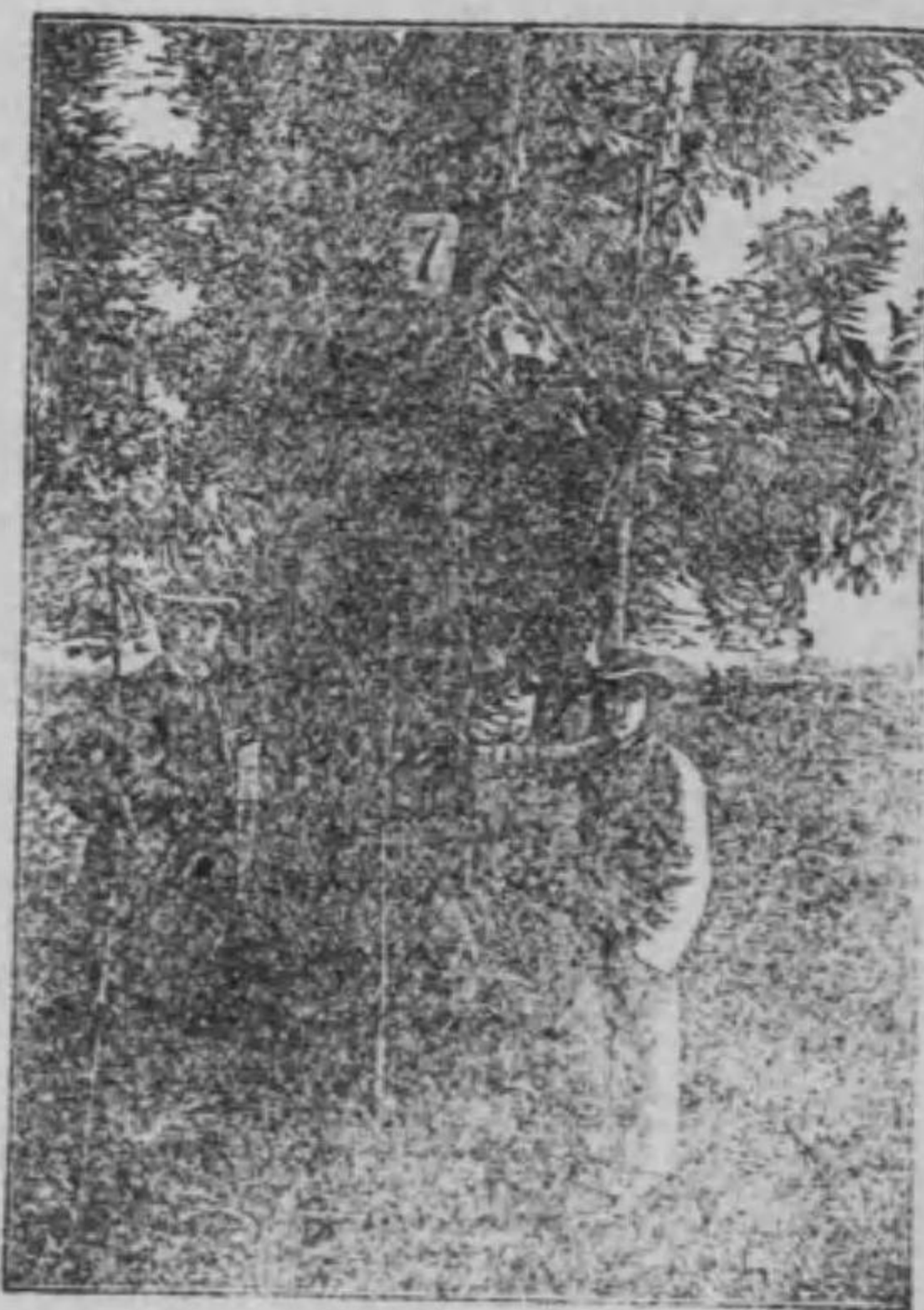
参考解説

ピナン 皮ナン(卑南)は馬來半島の西海岸、マラッカ海峽の北の入口に在る小島にして、一にプリンスオブウェールズ島と云ふ。對岸のウエスレー州、南部のデングス

グス州と共にピナン殖民地と云ふ。首府ジョージタウンは皮ナン島に在り、人口約

十萬。交通貿易の要地にして我が汽船の航路に當る。

ロ、馬來聯邦 馬來半島の大部を占め、ペラ・セラング・ネグリセン・ピラン・パハンの四部に分れ、各邦ラジャ(酋長)を戴き、明治二十九年來英國保護の下に政治を行ひ、シンガポール駐在の知事に隸屬せり。錫・ゴム・珈琲を産し、就中錫は産額世界第一



集採の談

一にして、この地方に於て最も重要な産物なり。

参考解説

参考解説
ジョホール其の他

1. ジョホール其の他 馬來半島には聯邦に加はらざるジョホール・ケダ・パリス・ケラ・ンタン・トレンガヌの五州あり。共に英國の保護を受く。ジョホール州は馬來半島の南端に位し、シンガポール島と相對し、域内ゴムの栽培盛にして、首府をジョホール

西比利亞

在留邦人

教授上の注意

バルと云ふ。
 2. 在留邦人 海峽殖民地及び馬來聯邦に在留する本邦人は男五四一七人女三五二六人合計八九四三人(大正八年六月未現在)にして、その中ゴム栽培に従事するもの最も多く、この地方は邦人の發展すべき地方中有望なる場所の一なり。(この地方のゴム栽培状況につきては尋常第六學年用三七八―三七九頁参照)
 教授上の注意
 米につきてこの地方と我が國との關係を特に注意せしむべし。

九 馬來諸島(二時間半)

教授要旨

馬來諸島の地理の一斑を授け、特に産物所屬を明にし、兼て我が國との關係を知らしむ。

教具

亞細亞洲全國、南部亞細亞地圖、ゴム・珈琲・香料・藤・マニラ麻・マニラ煙草の標本、都會の寫眞又は繪葉書類。

教材解説
位置

教材解説

【一、位置】 馬來諸島は亞細亞大陸の東南に散在する大小無數の島嶼より成り、一に東印度諸島又はマレーシアと稱せらる。面積約十三萬方里。スンダ列島、中部群島、フィリピン群島に別れ、各群島に屬する主なる島嶼左の如し。

スンダ列島―スマトラ島、ジャワ島、チモール島等。

中部群島―ボルネオ島、セレベス島、モルッカ諸島等。

フリビン群島―ルソン島、ミンダナオ島等。

以上の諸島嶼中最も大なるはボルネオ島にして、最も開けたるはジャワ島、ルソン島なり。ボルネオ島は面積四萬八千方里、我が國よりも稍大にして、世界第三の大島なり。スマトラ島(面積二萬七千萬里)、ジャワ島(面積八千四百万方里)等これに次ぎ、又フリビン群島は三千百四十一の島嶼より成り、面積約二萬方里あり。

参考解説

馬來諸島の火山

馬來諸島の火山 馬來諸島は一般に火山に富み、地震屢起る。中にもジャワ島に最も多く、火山の總數百四十餘座、活火山のみにては十六座あり。スマトラ島これにつぎ、その他の各島いづれも多くの火山を有す。これ等の火山は屢大活動をな

西比利亞

氣候產物

し、人畜に害を與へしこと稀なりとせず。最も名高きは紀元一八八三年八月クラカタウ(クラカトア)ジャワスマトラ兩島間のスンダ海峽の一島火山の噴火にして、爆發の際全島の三分の二を破壊し、これと同時に空中に昇騰したる火山灰は、ヒマラヤ山脈中の最高峰エベレストの二倍の高さに達し、又其の降灰量の面積は我が國の面積の殆ど二倍に達したり。火山灰の微細なるものは水蒸氣に混じて空中に浮遊し、世界の到る處太陽銅色に見えたり。又火山爆發に伴ひ、世界の海上に津浪を起し、死者三萬數千人を生じ、實に前代未聞の大噴火なりき。

【二】氣候產物】イ氣候 馬來諸島は南は凡そ南緯十度に起り北は略北緯十度に到り、全島熱帯に位するを以て、氣候一般に高温にして濕氣多きも、海洋の影響によりて暑氣大に和けられ、又季節の變化著しからず。

ロ 產物 氣候地味植物の發育に適するが故に熱帶植物よく繁茂して森林に富む。又農產物豊かにして、甘蔗・米・茶・コブラ・マニラ麻・煙草・ゴム・珈琲・香料・藤等の產類多く、又石油・錫・金剛石をも產出す。

參考解說

馬來諸島の動物

參考解說

1. 馬來諸島の動物 動物は珍奇なるものに富み、猩々・象・犀・孔雀・極樂鳥等あり。猩

香料植物



香料植物

々はオーランウータンの異稱にして其の狀猿猴に類し、毛は黄色を帯びて長く、面は人の如くにして端正、聲は小兒の啼くが如く、又犬の吼ゆるに似たり。常に群をなし伏して行く。性酒を好み、又よく人語を解す。

極樂鳥は一名を風鳥と云ふ。馬來諸島の東部よりニューギニア島にかけて産し、コフウテフ、オホフウテフ、アカフウテフ等の數種に分る。燕雀類に屬し、普通鳩大にして、羽翼は婉麗比なく、ヨーロッパ婦人用帽子の裝飾に用ひらる。

2. 香料植物 香料は肉豆蔻胡椒、肉桂、丁子等の別あり。モルッカ諸島はその主産地にして、一名香料諸島と稱せらる。

胡椒はモルッカ諸島、ジャバ及び印度のマラバル地方に産し、外皮を除去したるものを白胡椒と稱し、否らざるものを黒胡椒と云ふ。共に細末となして

挿繪

辛味の料に供す。

肉荳蔻は肉荳蔻科に属する常緑喬木の果實の外皮又は内皮を粉末としたるものにして香味料として廣く用ひらる。

丁子は桃金娘科の常緑喬木にして幹の高さ二丈乃至四丈。蕾花を乾燥して芳香性の調味薬とし又丁子油は鎮靜劑として用ひらる。

肉桂は樟科の樹木にして樹皮を香料若くは藥料に供す。

挿繪 馬來諸島に於ける藤細工。

藤は棕櫚科の蔓性植物にして印度馬來諸島等に産す。莖は絲の如き細きものより徑一寸位の太きものに至るまで種々あり。長さは數十間に及ぶものあり。その效用は頗る廣く椅子網席帽子繡籠杖花籠等種々の日用品と裝飾品とに使用せらる。圖は馬來諸島に於て大なる椰子樹の下に多人數集り藤の品類を擇り分け皮を剥ぎ眞直にし一定の長さに切斷し椅子席その他の材料を造り取揃へて運搬する有様なり。又圖中の勞働者はいづれも白布を以て頭を裹み白色の上衣を着し編物又は黒色の袴を穿ちよくこの地方の風俗の特徴をあらはす。本圖によりて藤の製造作業の狀態とこの地方の風俗の一端とを知らしむ。

區分

【三、區分】 馬來諸島は政治上和蘭英吉利亞米利加合衆國及び葡萄牙に分属す。各島を所屬に従て分てば左の如し。

(一)合衆國領—フィリピン群島。

(二)英國領—ボルネオ島の西北部及びラプアン島。

(三)葡萄牙領—チモール島の東部。

(四)和蘭領—以上の三國領を除きたる殘全部即ちスンダ列島中部群島の大部等。

【四、和蘭領】 和蘭領は馬來諸島の約四分の三を占めこれにバプア島一名ニューギネア島の西半を加へて和蘭領東印度と稱す。面積十二萬方里、人口約三千八百萬人(バプア



規

那

島を加へて)。和蘭より派遣せられたる總督ジャワ島のバタビヤに駐在し和蘭國王を代表してこれを統治す。
イ・ジャワ島 蘭領東印度中最も開けたる所にして人口約三千萬人、その密度我が國に二倍し世界に於て人口最も稠密なる地方の一なり。地味豊饒にして農

各地方

業發達し、砂糖、珈琲、規那煙草、茶、コブラ護謨等の産多く、就中砂糖は年産額百三十三萬噸、キューバ、英領印度に次ぎ世界第三位を占む。

バタビヤは島の西北岸に位し、人口二十三萬。蘭領東印度の首府にして、總督に駐在す。船舶の出入便利にして、百貨輻輳し、殊に砂糖、珈琲の輸出甚だ多し。我が總領事館の所在地。バタビヤの東方にサマラン、スラバヤ等の貿易港あり。スラバヤは天然の良港にして、砂糖の大輸出地なり。

参考解説

世界甘蔗糖産額

1. 世界甘蔗糖産額 最近三ヶ年間世界甘蔗糖の産額を擧ぐれば左の如し。

キューバ	一九一八年	一九一九年	一九二〇年
英領印度	三三四六	三九七一	三九〇〇
ジャバ	三三一一	一三七〇	三〇〇一
ハワイ	一七七八	一七四九	一三三五
ボルトリコ	五一五	五三八	五〇七
日本	四一三	三六二	四二六
	三九七	四一五	二八三

世界の護謨生産及消費額

其他

計 一九一八年 一九一九年 一九二〇年 一九二一年

2. 世界の護謨生産及消費額 最近三ヶ年間に於ける世界の護謨生産及び消費額左の如し。

南洋及印度(栽培護謨)	一九一七年	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年
ブラジル(野生護謨)	三三〇〇	二〇九〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
其他諸國(野生護謨)	三九七〇	二〇〇〇	三〇六五	三〇六五	三〇六五
計	二六六六	二四二九	三六八〇	三六八〇	三六八〇
米國	一九一七年	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年
英國	一七五	一七五	一七五	一七五	一七五
其他	二六	二六	二六	二六	二六
計	二〇七	二〇七	二〇七	二〇七	二〇七

もとブラジルは世界第一の護謨産地として世界需要の大部を供給せしが、この國が野生護謨の採取を主としてその産額殆ど居据りの状態なるに、近時印度及び馬來諸島方面に護謨の栽培起り、一九一〇年頃よりこれ等栽培護謨の産額長足の進歩をなし、今や世界全産額の八割九分を出すに至れり。而して栽培護謨の生産地として最も重要なるは馬來諸島なり。

規那

3. 規那 南亞米利加のペルーを原産地とし、西班牙人シンコーナ氏の發見に
 する。樹皮よりキニーネを製し解熱劑健胃劑に用ひ、マラリヤの特効藥なり。需要
 大なるを以て世界各地に移植せられ、一八五二年和蘭人これをジャワ島に齎らして
 より、今や産類ジャワ島を以て世界第一とするに至れり。

ロ・ スマトラ島 スンダ列島の西北端に位し、石油、煙草の産多し。その石油は我が國
 に輸入せらるゝこと多く、又煙草は良質世界第一の稱あり。

ハ・ セレベス島 狹長なる四半島結合して成れる奇形の島にして、海洋の影響を受く
 ること最も多く、馬來諸島中氣候最良の島なり。コブラ、鼈甲、風鳥羽を産す。

ニ・ 蘭領ボルネオ ボルネオ島は馬來諸島中の最大島にして世界第三の大島なり。
 氣候の酷熱なると猛獸毒蛇の害多きとの爲に内部の開発未だ充分ならず。島の南部
 七割餘は和蘭領にして、金、金剛石、石油を産す。

【四、英吉利領】 ボルネオ島の北部は英吉利領にして、ブルネイ、サラワクの二酋長國
 と、英國の北ボルネオ會社の所有たる北ボルネオとより成り、英國派遣の知事これを總
 管す。石油、石炭、金及びサゴの産出あり。

参考解説

参考解説

合衆國領

サゴ サゴはサゴ椰子と稱する棕櫚科の植物の木髓を打ち碎きて造りし澱粉
 なり。牛乳、蔗汁等を混じてソップ様に調理して食料に供し、又菓子製造の原料とも
 なる。英領ボルネオをその主産地とす。

【五、合衆國領】 合衆國領フィリピン群島はバシ海峽を隔て、我が臺灣に對し、呂宋島、
 ミンダナオ島、インドロ島、パネイ島、バラワン島等大小三千餘の島嶼より成る。群島は
 もと西班牙領なりしが、明治三十一年米西戰爭に西班牙敗北の結果合衆國に割讓せし
 所にして、合衆國より派遣せられし總督マニラに駐在して文武の兩政を總攬す。マニラ
 麻煙草、砂糖、珈琲、コブラ等の産多し。

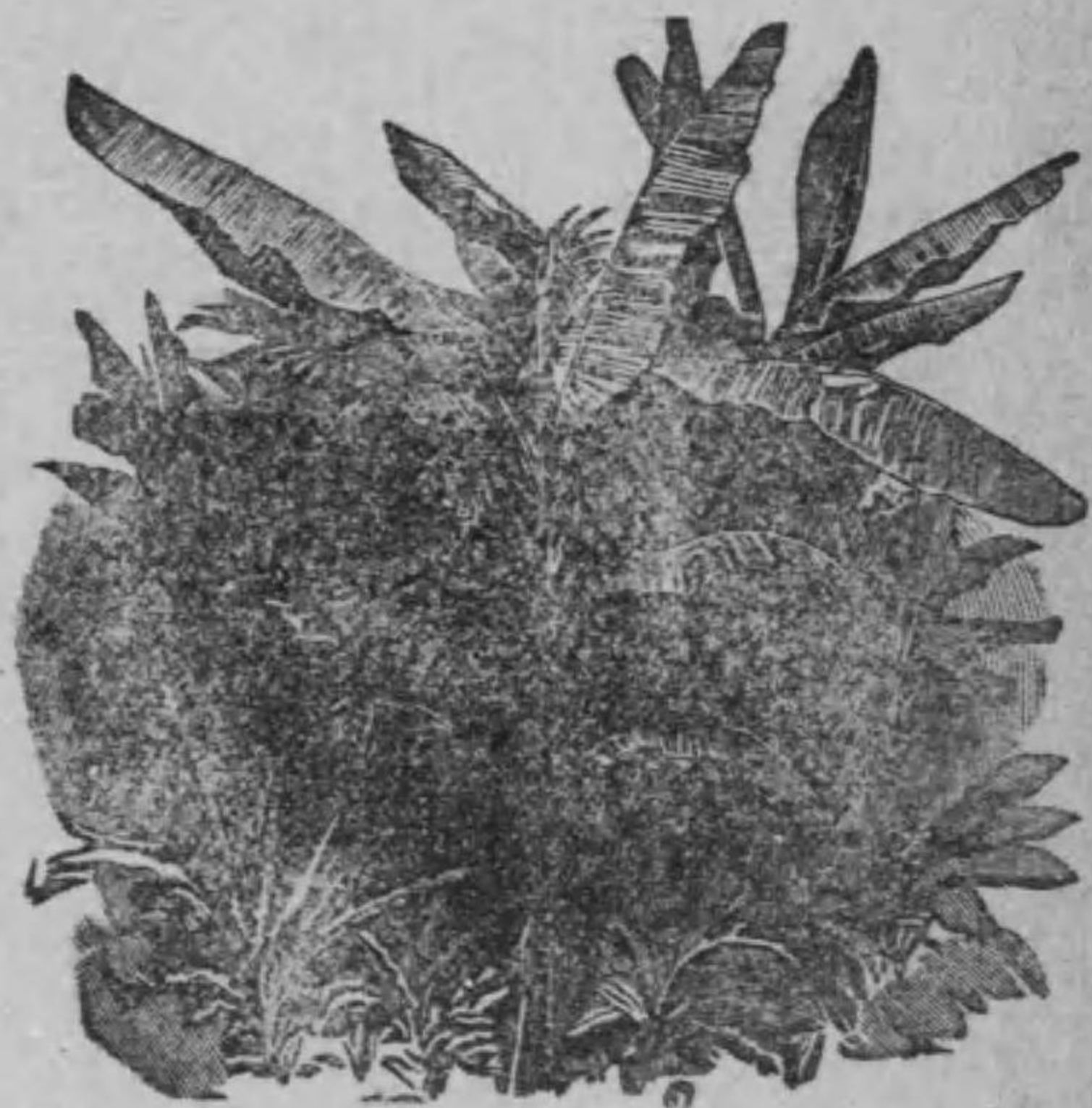
呂宋島は馬來諸島中ジャワ島につぎて發達せる島にして、その西海岸にある首府マニ
 ラは同名の灣に臨み、人口二十七萬、馬來諸島第一の都會なり。商業、交通の要地に當り、
 群島産物の大部はこの港より輸出せられ、マニラ麻、コブラ、砂糖、煙草等は主要輸出品に
 して、本港は群島百貨出入の大關門をなす。我が總領事館の所在地。

参考解説

参考解説

1. マニラ麻 マニラ麻はフィリピン群島、モルッカ群島等に産するアバカ(土語)と稱す
 る一種の芭蕉の包皮より採取する纖維なり。その質極直強韌にして濕氣に堪ふ

西比利亞



麻ラニマ

る力大なるを以て、漁業用及び船舶用網索の原料として、廣く世界に需要せらる。その優良なるものは織物の原料となり、又西洋婦人帽子用麻、眞田の原料となる。本群島第一の輸出品にして、大正八年度には著しく減少して、第二位に下れり。輸出年額四千萬圓に上り、我が國にも年々多額の輸出をなす。最近四ヶ年間に於ける我が國への輸出額左の如し。

大正五年	大正六年	大正七年	大正八年(單位千圓)
四八一四	一一一九四	一三二五一	五四三〇

2. フリビン群島の外國貿易 大正八年中フリビン群島主要貿易品及び價格左の如し。(單位千ペソ) — 1ペソは約一圓)

輸入		輸出	
品目	價格	品目	價格
鐵製品	四四七三五	椰子油	七三七一九
綿製品	三八六四三	マニラ麻	五七七〇三
寶石類	一〇五六四	マニラ煙草	三三三九〇
自動車及 附屬員	九六〇四	砂糖	三〇四一五
麥粉	八九二九	コブラ	八八三九
米	八八一七	其他	二四一六九
其他	一一五九八六	計	二二六二三五
計	二二七二七八		

各國別貿易比較表百分率左の如し。

米國	五七	日本	七
香港	二	英國	二
佛領印度支那	二	濠洲	一

【六、馬來諸島と日本】 馬來諸島は我が南隣の地にして我が國との間に往時より交

參考解説

通開けしが、近年この地方の開発進むと共に我が國人のこゝに移住するもの漸く多く、その數既に一萬を超え、或は勞働に従事し、或は農業鑛業の經營に當れり。この地方と我が國との貿易も近年次第に發達し、蘭領東印度は砂糖、石油、錫を我が國に輸出し、綿織物、燐寸、陶磁器等を我が國より輸入す。又フィリピン群島はマニラ麻、砂糖を我が國に送り、石炭、綿織物、燐寸等を我に仰ぐ。されば我が日本郵船會社、大阪商船會社、南洋郵船會社、續々この方面に航路を開き、彼我の交通貿易に便せり。

參考解説

1. 馬來諸島と我が國との貿易

蘭領東印度と我が國との貿易高及び重要輸出入品左の如し。

品名	我が國より輸出		我が國へ輸入	
	大正七年	大正八年	大正七年	大正八年
綿織物	一七六九四 <small>千圓</small>	二四四一六 <small>千圓</small>	二九三四四 <small>千圓</small>	四九三〇七 <small>千圓</small>
燐寸	三一七	二四六四	一一四七	三二四六
陶磁器	二五一八	一七九七	一七五二	一八八〇
麥酒	一一八八	一二二五	一六五九四	一一〇九〇
砂糖				
石油				
錫				
其他				

品名	我が國より輸出		我が國へ輸入	
	大正七年	大正八年	大正七年	大正八年
其他	四七一六〇	二七四五三	四八八三七	六五五二三
計	七二六七七	五七三五五	四八八三七	六五五二三

フィリピン群島と我が國との貿易高及び重要輸出入品左の如し。

品名	我が國より輸出		我が國へ輸入	
	大正七年	大正八年	大正七年	大正八年
石炭	四九九九 <small>千圓</small>	四九五九 <small>千圓</small>	一三二五一 <small>千圓</small>	五四三〇 <small>千圓</small>
綿メリン	一七五九	一三三四	三六七四	七九八一
ス肌衣	五二七	八三七	五二三	二二一九
燐寸	七八八	五四六		
陶磁器	一五八二八	九八七〇		
其他	一三五〇一	一八五五六		
計	一三五〇一	一八五五六	一七四三八	一五五三〇

大正九年度に於ける馬來諸島と我が國との貿易額は左の如し。

品名	我が國へ		我が國より	
	大正七年	大正八年	大正七年	大正八年
蘭領東印度	六八六二九 <small>千圓</small>	一〇七二二五	一〇七二二五	一七五八五四
計	六八六二九 <small>千圓</small>	一〇七二二五	一〇七二二五	一七五八五四

2. 馬來諸島と我が國との交通

大阪商船會社南洋航路—大阪—神戸—門司—基隆—高雄—香港—マニラ—サ
ンダカン(ボルネオ)—タワオ(ボルネオ)—パタビヤ—サマラン—スラバヤ—マカ
サル(セレベス)—サンダカン—香港—高雄—基隆—神戸。

南洋郵船會社南洋航路—神戸—門司—香港—パタビヤ—サマラン—スラバヤ
—サマラン—マカサル—バリクババン(ボルネオ)—香港—門司—神戸。

以上の外他地方に通ずる航路の汽船の馬來諸島の寄港地左の如し。

日本郵船會社濠洲航路—ザンボアンガ(フィリピン)。

同 社米國航路—マニラ。

東洋汽船會社香港航路—マニラ。

大阪商船會社米國航路—マニラ。

同 社濠洲航路—マニラ、メナド(セレベス)。

3. 馬來諸島在留邦人 この地方に在留する邦人は漸次その數を増し今や一萬以
上に及べり。

男

女

計(大正八年六月三十日現在)

教授上の注意

教授上の注意

蘭領東印度

二八〇三^人

一五六九^人

四三七二^人

フィリピン(アムを含む)

八八七六

九九五

九八七一

合計一四二四三^人

- 一、海岸と氣候との關係を知らしむべし。
- 二、馬來諸島と我が國との關係に注意せしむべし。

第二 大洋洲 (計四時間)

教・授・要・旨

大洋洲の地理の概要を説き本洲が他の大洲と異なる點多きこと、本洲中には一も獨立國なきことを授け、且つ我が國の委任統治に歸したる南洋諸島の地理を明かにし、兼ねてこの地方と我が國との關係を知らしむ。

總論 (濠太刺利と合せて二時間)

教・具

大洋洲全圖。

教・材・解・説

【一、位置成立】 大洋洲は亞細亞洲と南北亞米利加洲との間にありて、亞細亞洲の東南なる濠太刺利大陸とその附近より遠く太平洋上に散布する大小無數の島嶼とより成る。

【二、廣袤區分】 本洲の境域は實に廣大にして其の廣さは東西約百三十四度、南北約八十八度に亘る。されど面積は六大洲中最小にして約五十八萬方里、亞細亞洲の五分

廣袤區分

位置・成立

教材解説

の一、亞米利加合衆國と殆ど同面積なり。而して其の大部は赤道の南に位し、中に一も獨立國なし。

大洋洲は通常左の四部に分つ。

(1) オーストララシヤ || 濠太刺利大陸とニュージランド及びタスマニヤを含める地域にして、大洋洲の面積の大部分を占む。

(2)メラネシヤ || 黒人島の意にして、オーストララシヤの北東に位し、概ね赤道と南回歸線との間にありて、バブア島、ニューギネア、ビスマルク諸島、ソロモン諸島、ニューヘブリデス諸島、ロワヨテ諸島、フィジー諸島等を含む。

(3) ミクロネシヤ || 小島の意にして、メラネシヤの東北、凡そ百八十度の經線以西に散布する數多の小島を稱し、中にマリヤナ諸島、カロリン諸島、パラウ諸島、マーシャル諸島、ギルバード諸島、エリス諸島等あり。

(4) ポリネシヤ || 多島の意にして、メラネシヤ、ミクロネシヤの東方に在りて、赤道の南北各三十度の間に散布し、布哇諸島を始め、ファンニング、グフェニクス、トケラウ、サモア、トンガ、ツブアイ、フック、ソシエテ、マニヒキ、マルキーズ、パウモツ等の諸島を含む。

参考解説

参考解説

大洋洲

1. 大洋洲の四極

極北—クレスボラ 北緯三十二度四十六分
 極南—ドーハーチ島 南緯五十九度
 極東—サライゴメズ島 西經百五度二十八分
 極西—チルクハルトグ島 東經百十四度
 2. 大洋洲の所屬 本洲には一も獨立國なく皆歐米列強の領土たり。今その所屬と面積・人口の概要を擧ぐれば左の如し。

地名	面積 千方里	人口 千人
英領		
オーストラリア	四九八・六	五一四一
バブア・ニューギニア	三五・九	一七六八
トングラ・ソロモン・ギルバート	五三四・五	六九〇九
計	一・三	五〇
佛領		
タヒチ其他	〇・三	三〇
計	一・六	八〇
米領		
ハワイ・グアム	一・一	二七六

葡領—バブア

二・五

二〇〇

舊獨領

バブア・ピニア
 ルク・ソロモン
 サモア—ニューギニア委任統治地
 ナウル—英本國委任統治地
 カロリン・マーシャル・パラウ—日本委任統治地

一六・一

六三六

一 濠太刺利(總論を合せて二時間)

教・具・

大洋洲全圖、濠太刺利地形圖、濠太刺利物産分布圖、カンガル—鴨嘴獸の標本又は繪畫、濠洲牧羊圖、都會の寫眞又は繪葉書類。

教材解説

面積・人口

【一、面積人口】 濠太刺利は亞細亞洲の南東に位し、印度洋と太平洋との間に挟まれる大陸なり。濠太刺利とは南大陸の義にして、一に濠洲と稱せらる。面積凡そ五十萬方里支那の約七割に當り、歐羅巴よりも小さく、世界最小の大陸なり。

参考解説

人口は約五百萬にして我が國の十五分の二面積は約十二倍。その大部は英吉利人にして土人は年々その數を減少し僅かに十萬内外を残すのみ。

参考解説

濠太刺利の土人 濠太刺利の土人は海岸島嶼住民に屬し身長五尺四五寸、皮膚は褐色にして毛髮縮み、男女共に自然のままにして身には衣服をつけず、裸體を常とし腰邊さへも覆ふことをなさざるもの多し。重に山野に狩獵をなし、或は闘争を事とし、知識低くして恐らくは世界中の最劣等種族ならん。濠太刺利が英領となりてより、植民せる英吉利人との競争に敗れ漸次大陸内部に退嬰し、人口も次第に減少し、外人との間に生じたる雜種を合算するも十萬人に上らずと稱せらる。

地勢

【一】地勢

概ね高原性にして周邊殊に高く内地には波狀の低地少からず。

イ● 山地 東海岸に沿ひて濠太刺利山脈連り、北はヨーク岬より南はビクトリヤに至る七百里の海岸を走る。其の高さは東南部に於て最も大にして、濠太刺利アルプ山脈と稱せらるれども、最高峰のタウンセント・コシュースコの二山の如きも僅かに七千尺を超ゆるのみ。

西岸にも亦低夷なる小山脈連り、就中西南海岸を走れるターリング山脈はその主な

参考解説

るものなれども、高度四千尺に満たず。

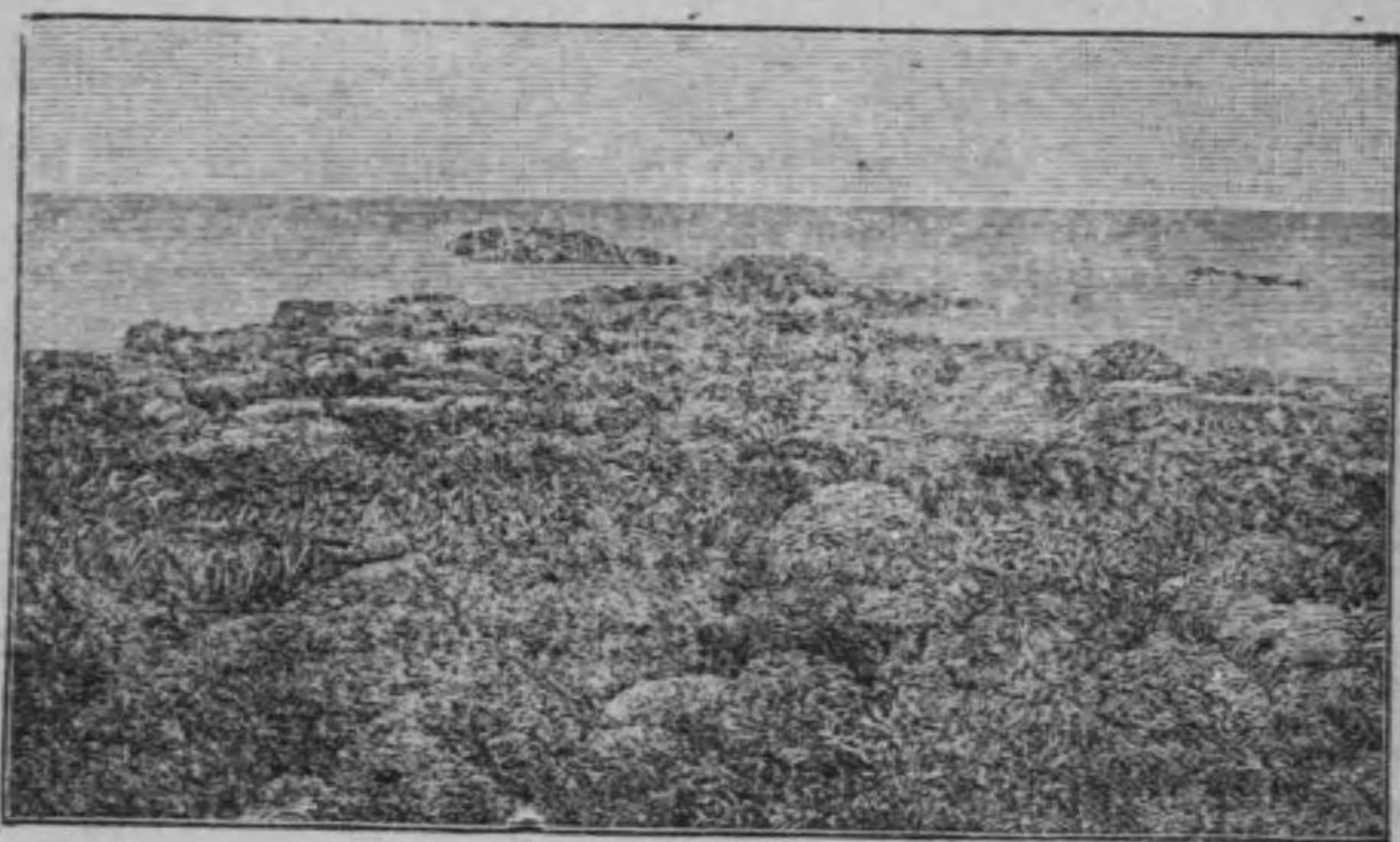
ロ● 河川平野 兩山地の間には波狀の低地連る。その大部は一般に高原狀をなし、中に草原沙漠多く、東南部は處々に丘陵を有する一大平原をなし、マルレー河及び其の支流ダーリング河其の中を流れ土地最も豊沃なり。

参考解説

マルレー河 濠太刺利は降雨少きを以て大河長流極めて少し。マルレー河は本大陸の河川中最も主要なるものにして、源をコシュースコ山の南方に發し流域に肥沃なる平野を開きて海に注ぐ。全長約九百四十里、水量多き時は下流四百里の間小汽船を通ず。支流ダーリング河は延長五百里に達すれども、水量甚だ乏しく、舟運灌溉の便を缺く。

ハ● 海岸 海岸は一般に出入に乏しく、北にヨーク半島、アルネム半島突出してカーベントリヤ灣入込み、南に濠太刺利大灣大なる弓形をなして灣入すれども、いづれも船舶の碇泊に便ならず。唯東南部の所々に小良灣ありてシドニー、メルボルン等自然の良港發達し、濠太刺利はこの地方より開け始めたり。沿海には島嶼も少く、唯タスマニヤ島稍著しきのみ。而して東北の沿海には長さ五

参考解説



珊瑚礁

百里に達する大珊瑚礁堡状をなして發育せり。

参考解説

大堡礁 珊瑚礁は成礁珊瑚蟲なる菊目石ミドリ石・クサビラ石・イボヤギ等の骨格が堆積して生じたるものにして、岩礁堡礁環礁等の別あり。濠洲の北東岸にあるものは堡礁に屬して大堡礁と稱せられ海岸を去るこみ四里乃至六十里の海中に五町乃至二十五町の幅を以て約五百里の間防波堤の如く連亘す。大堡礁と大陸との間には狭長なる水路ありて、波靜かなれども概して淺きを以て汽船の航通困難なり。

氣候・産物

温暖多濕なる東風吹き來るを以て、東南部は氣候温和にして雨量乏しからず最も人類

【三、氣候・産物】 1. 氣候 南回歸線大陸の中央

を貫通して南半は温帯に位し、且つ太平洋上より

参考解説

の生活に適し濠洲中よく開けたる地方なり。されど濠太刺利山脈以西は温暖多濕なる東風の持ち來る濕氣は、概ね濠太刺利山脈に吸收せられて内地に達せざるを以て、爲に内地に至るに隨ひ、雨量少くして草原鹹湖多く、且つ寒暑の差甚しきを以て、廣く沙漠をなせる處さへありて、住民極めて稀なり。

参考解説

濠太刺利の季節 濠太刺利は南半球に位するを以て、四季は全く我が北半球に

反對し、我が國の夏はこの地方の冬、この地方の夏は我が國の冬なり。即ち濠太刺

利に於ては一月は夏にして最も暑く、七月は冬にして最も寒し、曆は北半球と同じ

太陽曆を用ふるを以て)

生物 濠太刺利は他の大陸より海洋を以て遠く離れて存在するを以て、動植物の

如きは他の大陸に存在せざる珍奇のもの少からず。其の主なるものはカンガル、エ

ミウ、鴨嘴獸等の動物、ユーカリ等の植物なり。現今産業上に利用せられ、この大陸の富

源をなせる牛・羊等の家畜、小麥其の他穀類は原種を歐羅巴より移したるものなり。

参考解説

1. エミウ 濠洲特産の鳥にして走禽類に屬し、その大きさ鴉鳥に次ぎ、高さ五尺餘、

参考解説

大洋洲

羽翼は毛狀をなして黒く光澤を有し至て短小なるを以て飛翔の用をなさず兩肢を以て馳走すること甚だ速なり。雌は雄より大にして青綠色又は黒綠色の卵を生みその長徑四寸五分許雄はこれを温めて孵化せしむ。肉は食用に供し甚だ美味なり。

2. ユーカリ樹 濠洲特産の常緑の喬木にして樹皮は灰白色をなし剝け易し。生長甚だ速かにして往々高さ五百尺周圍二十尺以上に達する巨樹あり。濕地に植うれば濕氣を吸収し殊にマラリヤ熱流行地に植うれば土地を乾燥せしめて病源を絶つ效あるにより他の大陸に移植せらる。近來我が國にもこれを植うる處多し。材は建築用又は器具製作用に供せられ葉はユーカリ油を製して藥用とし又は製紙の原料とす。

挿繪 カンガルー、鴨嘴獸。

カンガルーは濠洲特産の草食の有袋類にして前肢は短くして弱く後肢は長く且つ強く尾も亦甚だ長大にして力強く體の支柱となり又飛躍を助け一躍能く數米に達す。後肢及び尾を以て直立しその大なるものは身長五尺に達す。全身灰色にして肉は食用とし皮は毛皮に製す。その仔は甚だ不完全なる容體にて生る

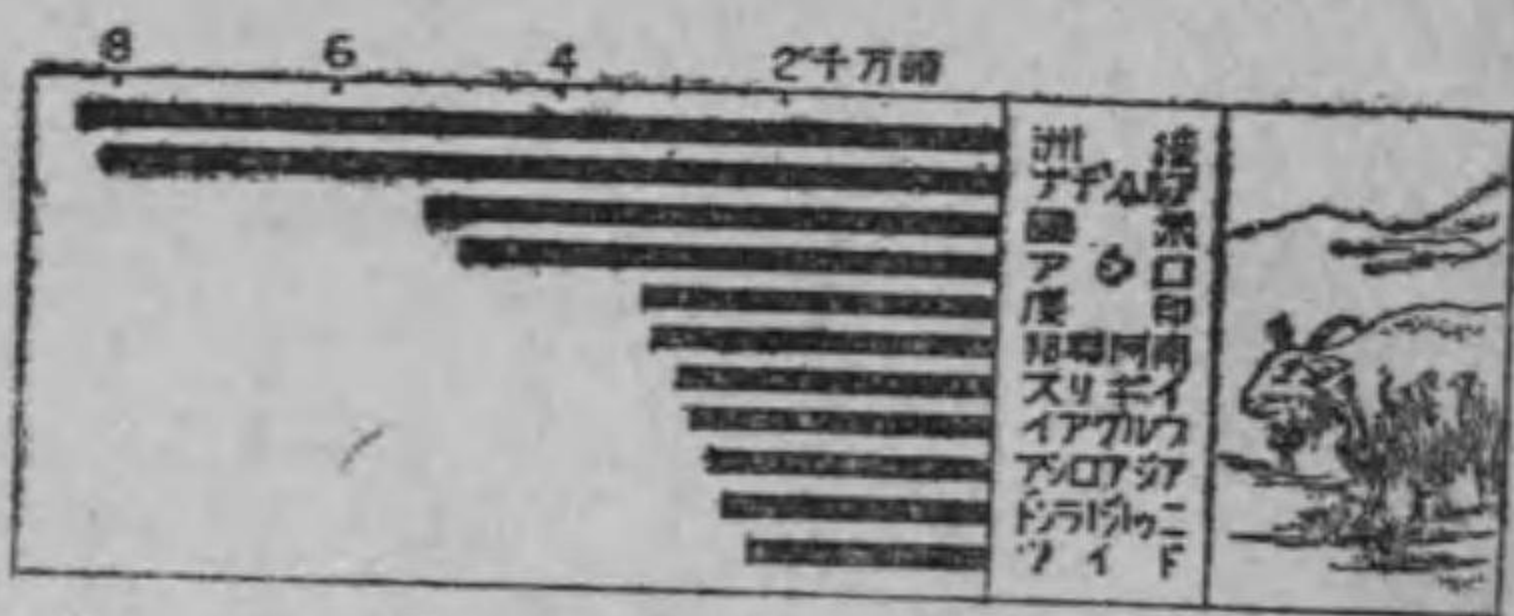
るが故に母獸はその腹部の前面にある皮囊中に收めて哺乳養育す故に袋鼠とも稱せらる。本圖には皮囊見えす。

鴨嘴獸はまた濠洲の特産にして哺乳獸中最下等の動物なり。形小なる川獺に似て大きさ二尺許。口吻は延長して嘴狀をなし鴨の嘴の如く齒を有せず眼は小形にして瞬膜あり耳は外殻を具へず毛色は背は暗赤色又は暗褐色にして腹部は白く全身柔軟なる短毛密生し尾は短くして扁平なり。四肢は五本の指趾に分れ趾間に蹼を有し水泳に適し又能く陸上を歩行す。排泄口は一にして一に一穴類と稱し且つ卵生なり。河又は池の堤に二十尺乃至四十尺許の洞穴を穿ちてその中に棲息し泥中の甲介水蟲類を食す。この動物は全身に毛を有すること兒を哺乳することは哺乳類に類し卵生なるこゝも鴨の如き嘴を有すること排泄口一なるこゝ等は鳥類に類し珍奇なる動物なり。

ハ。農産畜産 東部は森林を伐採して農耕開け小麥玉蜀黍甘蔗煙草棉等の栽培盛に就中最も重要なものは小麥にして年産額二千萬石餘に及び主産地は東南部にして麥粉と共に濠洲輸出農産物中の主要なるものなり。

畜産は濠洲第一の富源にして東部地方到る處に牧場發達し就中最も盛なるは東南

参考解説



羊頭數比較表

部のニューサウスウェールズ州なり。家畜の中に最も多きは羊にしてその頭數世界の首位に居り従つて羊毛の産額も世界第一にして濠洲輸出品中の第一位を占む。その他牛馬豚の牧養盛なり。

参考解説

1. 主要農産物産額(一九一七年)。(單位千ブッシュェル—ブッシュェルは約二斗)

小麦 一一四七三三 玉蜀黍 八八四三
 燕麥 一〇三八七 甘蔗 二八七九
 大麥 三九九六

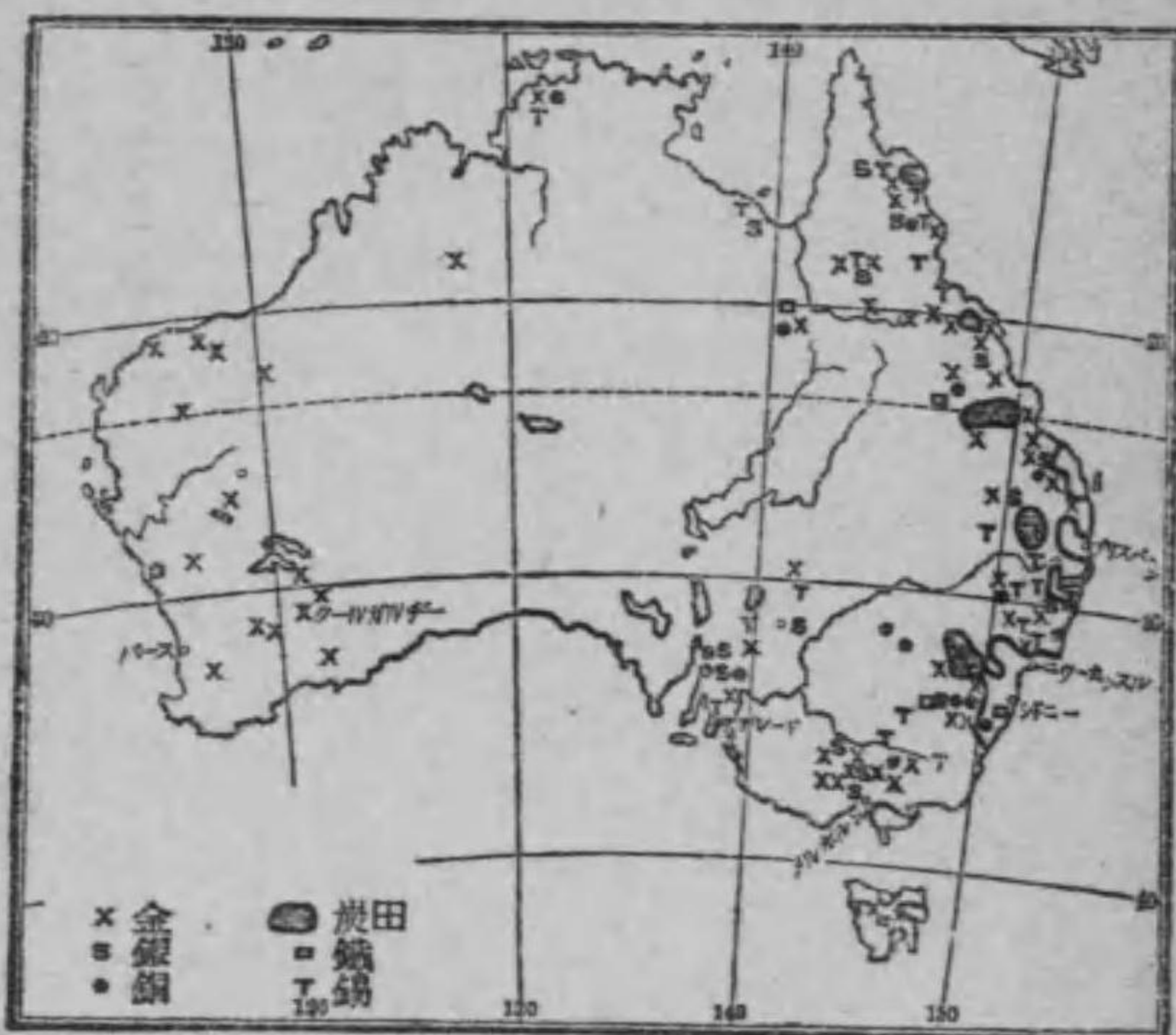
農産物總價格—一七九六七萬圓。

2. 主要家畜頭數(一九一七年)

牛 八四九六萬頭 馬 二四九
 羊 一一九二 豚 一一六

畜産物總價格—九三三九五萬圓。

二. 鑛産 鑛産は畜産と共に濠洲大富源の一にして金銀石炭等を主とし鉛銅錫これ



鑛物分布圖

銀及び鉛 六一〇〇
 銅 四四六〇

2. 金・石炭

金は千八百五十一年發見以來千九百十九年(大正八年)末までに探掘

石炭 六一一〇
 錫 一四三〇
 金 五四〇〇萬圓

1. 主要鑛産物産額(一九一八年)

に次ぎ總産額二億六千萬圓に上る。而して其の産額全世界金額の約十分の一を占めその分布廣く西濠太利の諸鑛山より殆どその半額を産し、東部各洲の諸鑛山これに次ぐ。銀は合衆國、墨西哥、加奈陀に次ぎ世界第四位に在り、ニューサウスウェールズ州のブロークンヒルに其の産多く、石炭も亦同州に産す。

参考解説

したる總高五十九億四千五百三十萬圓に達し近年產額稍減少の傾あれども、南阿弗利加合衆國につき世界の第三位にあり。これが分布は頗る廣けれど、現今最も多く産するは西濠太刺利にして、この地方に金の發見せられし千八百八十六年以來最近に至るまでに濠洲産金全額の約四分の一を出し、今年々産金全額の六割以上を産出す。主なる鑛山はクルガルデーカールグーリマーチソン等なり。東部にてはヴィクトリヤ州のベンヂゴバララット、クインズランド州のチャータースタワー等これに次ぐ。

石炭は埋藏量豊富にして、千二百億噸に上ると稱せられ、最近一ヶ年の産炭量一千三百萬噸六千二百二十萬圓に達し、世界の第十一位にあり。産地は東部の塊太刺利山脈の附近にして、殊にニューサウスウールズ州のニューカッスル附近を主産地とす。重要輸出品の一にして、主に東洋の市場にあらはれ、我が國の石炭と競争の地位にあり。

本 外國貿易 濠太刺利は人口僅かに五百萬に過ぎざれども、農業牧畜鑛業等の發達に伴ひ貿易の發展も著しく、大正八年には輸入九億四千九百五十四萬七千餘圓、輸出十億六千七百九十五萬八千圓、合計二十億一千七百五十萬五千圓に達し、未曾有の好況を呈せり。

羊毛	四二七六六 <small>萬圓</small>	小麥	一一三三四	小麥粉	五八一八
皮	四四〇三	罐詰肉	三七九七	バター	三一九二
鉛	二八九一	牛肉	二四七二	銅	二二二〇

主なる貿易對手國は英本國、米國、日本、印度にして、殊に英本國との取引高は全貿易額の半に近し。シドニー、メルボルンを始め、東海岸の各地に發達せる諸港はこれ等貿易品の取引盛なり。

都邑

【四、都邑】 大陸の東南部は氣候温和、地味豊沃にして、物産に富み、交通亦便利なるを以て、人口稠密にして大都會は多くこの地方に發達せり。

イ、メルボルン 東南部のビクトリヤ州の首都にして、同時に目下聯邦政府の假所在地、千八百五十一年市の北西方にバララット金鑛發見せられし以來、俄に人口増加し、又近時牧羊業の中心となりしより益々發達し、今や人口六十八萬市外を含めて百七十一萬に達し、濠洲第一の大都會なり。市はフィリップ灣内のホブソン灣に臨み、水深二十尺以上のチャ河市内を貫流し、汽船は市内に浜ることを得、濠洲第二の大商港たり。羊毛、金、小麥、肉

挿繪

類、タバ等の輸出多く、我が日本郵船會社の濠洲航路の終點に當る。市街は一般に廣闊にして、大學、博物館等宏壯なる建築物多し。

挿繪、メルボルンの市街。

メルボルンは其の街衢の大なること、市民の富めること、人口の多きこと、に於て歐米の大都市と拮抗す。この圖にあらはれたる街路は本市の北より南に通ず、八大街路の一たるコリンズ街なり。コリンズ街は長さ一哩に及び、街路頗る平坦にして、中央には新式のケーブルカーを通じ、兩側の人道の中央には並木を植えて適當の木蔭をつくる。圖の右方の中程に見ゆる圓塔は裁判所の屋根にして、遙に二個所の尖塔の見ゆるはスコットランド教會堂と獨立教會堂となり。

ロ。シドニー シドニーはニューサウスウェールズ州の首府にして千七百八十八年の建設にかゝり、濠洲最古の都市にして當時の英國拓植務大臣シドニー氏の名を採りたるものなり。市街はジャクソン灣に臨み、港内水深く波濤かたにして自然の良碇泊地をなし、埠頭の延長三哩に及び、ニューヨーク・リオデシヤネロと共に世界の三大美港と稱せられ、大洋洲第一の大商港にして、金羊毛、石炭等の輸出多く、人口六十四萬、市外を含めて七十八萬。我が國汽船の寄港地にして、帝國總領事館の所在地なり。港は又濠洲艦隊の根

據地なり。市の西南、シドニー・メルボルン兩市の略中間に聯邦首府の豫定地カンベラあり。

ハ。木曜島 ヨーク半島とバプア島との間にあるトレス海峡内にあるプリンストアウエールズ群島中の一小島にして、周圍僅かに二里、英國の貯炭所あり。住民約三千五百、その中邦人の移住者八百餘人あり。邦人の移住者はこの島及び附近の小島に産する眞珠貝及び海參の採集に従事し、就中眞珠貝採集業最も重要なり。我が日本郵船會社濠洲航路の寄港地なり。

ニ。アデレード 南濠太刺利の首府にして、セントビンセント灣に注げるトレンス河の下流に跨り、河口より浜るこみ約三里。船舶の出入多く、小麦、羊毛等の大集散地なり。人口二十一萬。市の外港をポートアデレードと云ふ。

ホ。パース 西濠太刺利の首府。スワン河口を溯ること四里餘、西部地方の金礦發見以來長足の進歩をなし、人口十三萬、金羊毛の輸出多し。外港をフリマントルミ云ふ。

参考解説

一、プリンスヘイブン クイーンズランド州の首府、プリンスヘイブン河の下流に沿ひ、河口より十里。濠洲第三の商港にして人口十六萬。羊毛皮革の輸出多く、我が汽船の寄

大洋洲

港地なり。

2. タウンズビル

我が汽船の寄港地なり。

3. タスマニヤ島

パース海峡を隔て、ビクトリア州と相對し面積約四千方里人口十九萬。氣候良好、風景秀美にして濠洲の瑞西と稱せられ、保養の好適地なり。

中部には肥沃の平野ありて、麥類羊毛の産多し。南岸に首府ホバートあり。

沿革

【五 沿革】 濠太刺利は第十六世紀の初に佛國の航海者によりて發見せられたりも云ひ、或は葡萄牙の航海者によりて發見せられたりとも稱し、確説なし。西紀一千六百六年西班牙人トレス、トレス海峡を發見し、千六百四十二年和蘭人タスマン、タスマニヤを發見してより、漸く世に知らるゝに至り、歐羅巴人のこの大陸を探検するもの次第に多くなれり。當時和蘭人はこの大陸を新和蘭又は南大陸フランドラと稱したり。これ濠太刺利の名稱の起源なり。

西紀千六百八十八年英人ウリヤムダンビーヤこの大陸の西北岸を探検せしが、これ英人が濠洲に至りし濫觴にして、その後千七百七十年英國の船長ジームスタク大陸の東岸を探検してボタニー灣に上陸し、この地方をニューサウスウエールスと命名したり。

参考解説

これ當大陸が英領となりし始めにして、ついで千七百八十七年時の拓殖務大臣シドニー・ハートツェンが、囚徒七百五十六名を解放して濠洲に送り、翌年ボートジャクソン灣岸にシドニー市を創設せしめたり、これ英人殖民の嚆矢にして、爾後英人は次第に各地に來りて殖民を試み、漸次今日見るが如きヴィクトリア・ニューサウスウエールス・クイーンズランド・西濠太刺利・南濠太刺利・タスマニヤ等の植民地を開きたり。千八百五十一年豐富なる金鑛發見せらるゝや、英人のこの地に移住するもの益多く、殖民地は大に發展せり。かくてこれ等の殖民地を聯合せんとする運動は早くより起りしが、各州其の利害を異にするを以て議容易に纏まらざりき。然るに千九百一年(明治三十四年)に至り、漸く熟し、大陸の五殖民地とタスマニヤは聯合して六州聯合の一聯邦を立て、濠太刺利聯邦と稱し、メルボルンを以て假首府と定めたり。千九百十一年(明治四十四年)北部地方は南濠太刺利より分離して聯邦政府の直轄となり、カムベラは聯邦政府の所在地と定められたり。濠太刺利聯邦は英本國の監督に服するのみにて、強大なる自治權を有し、英國王を代表せる總督は行政長官となり、立法權は元老院衆議院より成る聯邦會議に委ね、地方の各州またそれぞれ知事及び議會を有して自治を行ふ。

参考解説

一 貿易上 我が國と濠洲との關係 我が國と濠洲との關係に於て最も重要なものは貿易關係なり。

品目	日本より輸出		日本へ輸入	
	大正七年	大正八年	大正七年	大正八年
羽二重	五五四二	二四〇三	二二八九	一四五九
玩具	一一六〇	一五一八	八五九八	五一一七
陶磁器	二八二四	一四八六	三六六八	一六〇〇
硫黄	二二〇六	五九六	二七一九	三三三二
其他	五三〇九六	二四八二三	三七一九	三三三二
計	六四八二八	三〇八二六	四八八七四	五六六三五

二 移民上 濠洲は物産豊富なるに人煙稀少なるを以て、一時我が移民次第に増加せんせししが近時我が移民を嫌忌して、その入國を妨ぐるに至りしを以て、現時僅かに三千餘の邦人移住民あるのみ。これ等の移民は重に西濠洲北岸のブルーム及びトレス海峡内の木曜島にありて眞珠貝の採取に従事す。

三 交通上 我が國の濠洲航路は日本郵船會社大阪商船會社これを經營す。

教材解説
面積・人口・地勢・氣候

教・具

太平洋全圖、布哇諸島圖、日本委任統治諸島國、ニュージーランド島國、マオリ族の寫眞又は繪畫、布哇に於ける甘蔗畑の寫眞又は繪畫、コブラ・燒礦の標本。

二 本洲の諸島(二時間)

日本郵船會社濠洲航路—横濱—神戸—長崎—香港—マニラ—ザンボアンガ—木曜島—タウンズビル—ブリスベーン—シドニー—メルボルン。(ニュージーランドに寄港することあり)。
大阪商船會社濠洲航路—函館—横濱—神戸—門司—マニラ—シドニー—メルボルン—アデレード。

【一、面積・人口・地勢・氣候】 本洲には大小數多の島嶼ありて、その全面積八萬餘方里、我が國の二倍に近く、人口は凡そ三百萬にして、我が總人口の二十分の一に及ばず。これ等の諸島は或は高き火山を戴き、或は低き珊瑚礁より成る。珊瑚礁には据礁あり、堡礁あり、環礁あり。

諸島は概ね南北兩回歸線内にありて、熱帯に位すれども、バブア島を除けば、概ね渺茫たる太平洋上に散點する小島にして、海風の影響を受くること大なるが故に炎熱甚しからずして生活に適す。

諸島の中最大なるはメラネシヤに屬するバブア島(一名ニューギニア島)にして、オーストララシヤに屬するニュージールランドこれに次ぎ、その他はいづれも面積の小なる島嶼なり。これ等の島嶼中赤道以北のミクロネシヤの大部は我が國の委任統治地にして、その他は英、米、佛、蘭、四國の公領する所たり。

参考解説

参考解説

バブア島

グリーンランドに次ぎ世界第二の大島にして、面積五萬方里。内部の山地には一萬數千尺の高峰相連り、密林深く、鎖し未開の黑人これに據りて探險行届かす。海岸地方も氣候濕熱にして開發進まず、従つて地理不明の所少からず。住民の數は未だ精確ならず、百萬に近しと稱せられ、その大部はバブア族にして、性野蠻強暴にして、食人、蠶首の蠻風を有するものあり、多くは樹上又は水上に生活す。西半は和蘭に屬し、蘭領東印度の一部をなし、東南部は英領にして、濠太刺利聯邦に屬す。東北部はもとカイゼルウルヘルムスランドと稱し、附近のビスマルク諸島

等と共に獨逸領なりしが、世界大戰の結果濠太刺利聯邦委任統治の下に置かれたり。

ニュージールランド

【二、ニュージールランド】 濠洲の東南約五百哩程の海中に位する英領の大島にして、クック海峡に由りて南北の二島に分れ、面積約一萬八千方里。南島には高峻なる南アルプ山脈ありて、その最高峰クック山は海拔一萬二千五百尺、四時雪を戴き、壯大なる氷河流れ、風景雄大なり。北島は南島に比すれば土地一般に低夷なれども、火山到る處に聳え、熱湖これに交り、又溪間には無數の間歇泉噴出し、甚だ奇觀なり。

氣候は海洋性にして、温暖多雨、加ふるに地味肥沃なるを以て、農牧發達し、羊毛、牛酪、凍肉、小麥等の輸出夥しく、又金、石炭等の礦産少からず。

住民の總數約百十萬、大部分は英人なり。土人はマオリ族と稱し、大洋洲の土人中最も開化せるもの、一にして、もその數十萬以上ありしが、今は漸次減少して約五萬になれり。特殊の文身をなすを以て知らる。

首府ウェリントン、北島の東南岸クック海峡に臨める港市にして、北島の北岸に在る港市オークランドと共に羊毛、凍肉の輸出多し。いづれも我が汽船の寄泊地なり。

参考解説

参考解説

大洋洲

1、**ニュージールランドの政治** ニュージールランドは西暦千六百四十二年和蘭人タスマンの發見に係り後千七百六十九年英人クックこれを占領してより英領となり、長く囚徒の流刑地たりしが、千八百五十三年來自治植民地となり、本國王の任命せる總督の下に政府並に議會ありて自治制を行へり。

2、**マオリ族** マオリ族は鯨を以て名高き種族にして、男子は顔面の全部婦人は額の邊に鯨を施す。鯨は鯨の齒若くは貝殻の小片を用ゐて皮膚を傷け、これに植物性の墨汁を塗り入る。鯨の形狀は人によりて一様ならざるを以て、元來顔の裝飾



マオリ族の男子

なれども、戸主の鯨を模せる木偶を屋上に掲げて標札の用をなし、或は外人との取引證書に契約者自身の鯨を畫きて捺印に代ふることあり。

3、**ニューカレドニア島** 佛國の領土にして、加奈陀につぐ有名なる白銅産地なり。邦人二千數百こゝに在住して、これが採掘に従事す。首府ヌーメヤは良港にして佛國

太平洋艦隊の根據地なり。

4、**フィジー諸島** ビチレフ・バヌアレフの二大島及び二百餘の小火山島より成り、面積千二百餘方里人口十六萬餘。砂糖コブラバナ島の産に富み、太平洋上の英領島嶼中最も重要なものなり。首府スバはビチレフ島の南東岸に位し、海底電線の中繼地にして、濠洲間交通の要路に當る。

【三、**布哇諸島**】 本洲の東北部を占め、サンドウイチ諸島とも云ふ。亞米利加合衆國の領土にして、面積千七十五方里、大小二十餘の島嶼より成り、中にもハワイ島最も大にして、面積約七千方里、マウイ・カフラウエラ・ナイ・モロカイ・オアフ・カウアイ・ニイハウの八島を主なるものす。

城内火山に富み、殊にハワイ島のロア山・ケア山等は高さ一萬尺を越え、キラウエア山は噴火口に熾熱せる熔岩流溢え、時々溢流するを以て名高し。熱帯に位すれども、海洋の影響を受け、氣候温暖にして雨量多く、且つ地味肥沃なるを以て、農業盛に行はれ、總計四千三百二十の農場は百二十三萬二千町歩の耕地を有し、中にもハワイ島のヒロ壺地及海岸の低地最も盛にして、甘蔗の栽培を第一とし、年々六十萬噸内外の甘蔗糖を産し、世界主要甘蔗糖産地の一なり。バイナプル・バナナ等の産これに次ぐ。千九百十八年に

布哇諸島



ル　　ル　　ノ　　ホ

於ける砂糖の輸出額五十四萬噸餘にして、その大部は合衆國に送られ、合衆國への輸出總額八千三百萬弗中砂糖は約九割を占む。

住民の總數約二十六萬人にして、土人カナカ人は年々減少し今や僅かに二萬を算するに過ぎず。大部は外國の移住民にして、その中米人は三萬一千、葡萄牙人二萬五千、支那人二萬三千、フィリピン人二萬二千。而して邦人は十一萬餘の多數に上り、ハワイ諸島全人口の半數に近く、主として製糖業に従事す。

首府ホノルルはオアフ島の南岸に在り、人口七萬五千。太平洋交通の衝に當り、商業盛にして、粗糖の輸出多く、我が東洋汽船會社の北米南米兩航路船の寄港地に當り、我が總領事館あり。

参考解説

1. ハワイの政治　　ハワイ諸島は千七百七十八年

英人クックによりて發見せられしが、後ハワイ島出身のカメハメハ一世各島を征服し、千八百十年全島を統一し、オアフ島のホノルルを首府としたり。その後七代を経て女王リリオカラニに至り革命起り、千八百九十三年明治二十六年女王遂に廢せられ、翌年共和國を建てしが、當時米國の勢力非常に加はり來り、千八百九十八年(明治三十一年終に米國に併合せられ、其の一地方として今日に及び。米國大統領により選任せられたる總督ホノルルにありて政治を統ぶ。
2. ハワイの貿易　最近三ヶ年間ハワイの輸出入額左の如し。

年次	輸 入		輸 出	
	米國	諸外國	米國	諸外國
一九一七年	三九八七五	六四八二	四三三七	七四八〇
一九一八年	四四〇〇四	六七七	五八〇一	七九三五
一九一九年	四四二	八三三	五七三	八四〇九
計				
米國へ	六四五五八		三九三九	
諸外國へ				六八四九七
計				

重要輸出品左の如し。

挿繪

果	實	一二〇五六	六〇	一二二一六
珈	琲(生)	一〇〇三	一八〇	一一八三

挿繪 布哇諸島に於ける我が國人の村落

明治元年(千八百六十八年)百五十名の我が勞働者布哇に渡航せしが、これ日本移民の布哇に入りし初めなり。されど爾後十餘年間これが後をつぐものなく、最初の移民も漸次その數を減じ明治十五年頃には僅かに十五名となりき。明治十七年第二回の移民數百名渡航せしが、これより我が移民年々共に増加し、明治三十二年頃には移住者最も多かりき。然るに明治四十一年我が政府は米國との協約に基づき移民に對して禁止的渡航制限をなすに至りしかば新なる移民は殆どこれを見るべからざるに至りぬ。而かも渡航制限前布哇に入りし移民及びその子孫既に十一萬に達し、布哇總人口の四割餘を占め、主として甘蔗栽培に従事し、布哇に於ける砂糖の産額は我が移民に由りて左右せらるゝ狀況に達し、海外に於ける我が移民の最も發展せる地方なり。

本圖はホノル、の西方十六哩にあるワイバラ甘蔗耕地と同耕地勞働者たる日本人の部落を示せるものにして、圖の前景は耕地耕地を隔て、相對する部落

挿繪

我が南洋委任統治地

は日本移民の村落、その背後に高き煙突の見ゆるは製糖場なり。布哇諸島に於ては到る處にかくの如き日本風の村落を見るを得。

挿繪 布哇諸島に於ける我が國人の甘蔗の採集

布哇諸島に於ける我が移民は主として甘蔗の栽培に従事し、非常に勢力あり。本圖は我が移民が荷取りたる甘蔗を念設トラックによりて製糖場へ運搬する光景にして、本圖を前圖とにより、布哇諸國に於ける日本人發展の有様を知らしむ。

【四】 我が南洋委任統治地】 我が南洋委任統治地は舊獨逸領ミクロネシアの殆ど全部にして、バラウ・カロリン・マーシャルの三諸島、マリヤナ諸島の大部とより成り、東經百三十度より百七十三度、北緯二十一度より赤道に至る廣大なる海中に散布し、島數一千有餘に及べども、面積僅かに百六十三方里。概ね火山島又は珊瑚島より成り、火山島は土地高くして面積稍大なれどもその數極めて少く、大多數は極めて低夷にして小さき珊瑚島なり。

住民はその數五萬五千にして、大部は未開のミクロネシア族なり。諸島は面積小にして住民亦少ければ、産業はその量の上より多く言ふに足らざれども、熱帯特有の産業を以て注目に値するものなきにあらず、その第一は各地に産するコブラにして、年産額

八千餘噸に達し、六千餘噸を輸出す。その他バナナ、パイナップル、マンゴ等の果實を産す。又パラウ諸島のアンガウル島に産する燐礦は極めて重要な礦産にして、南洋諸島利源の一たり。

マリヤナ、カロリン、パラウの三群島はもと西班牙の領土なりしが、一八九八年(明治三十一年)米西戦争の結果マリヤナ諸島中のグアム島は米國に奪はれ、その他の諸島は獨逸の買収する處となりぬ。獨逸は爾來これ等三群島をマーシャル諸島と共に併有せしが、大正三年日獨戦争に於て我が海軍はこれ等の諸島を占領し、主なる島々には航路を通じ、その他種々開發に努めしが、大戰後我が國は是等諸島の統治を委任せらるゝことゝなれり。

参考解説

参考解説

- 1. マリヤナ諸島 十六の小島より成り、我が富士火山脈の南端に當れる火山列島にして、北部の十島には現に活動せるもの少からず。椰子樹、パンの樹その他熱帯植物生育す。最大島グアムは米領にして、これに次ぐはサイパン島なり。我が主要港ガラバンは我が守備隊の根據地なり。
- 2. カロリン諸島 北緯十度より赤道に至る間に於て東西に長く并列せる群島に

して、概ね火山島及び珊瑚島より成り、土地肥沃なるを以て椰子樹、パイナップル、バナナ等の産多し。諸島は東經百四十八度の經線を以て東西の兩部に分たれ、東カロリンにてはボナベクサイエトルク等の島々名高く、西カロリンにはヤップ島あり。ヤップ島は海底電線の中繼所にして、東はグアム島に通じて米國線に連絡し、西南は蘭領東印度のセレベス島メナドに到り、北は支那の上海に達せり。も、獨逸電信會社の所有なりしが、世界大戰の結果五大國の監理する處となれり。目下我が民政廳この地に置かれ、横濱との間に定期航路開かれたり。

3. パラウ諸島 南洋諸島中最も西方に位し、バベルツアブ島を最大島とし、アンガウル島は燐礦の産地として名高し。近海には蝶貝、高潮貝等の産少からず。

4. マーシャル諸島 カロリン諸島の東に位し、西北より東南に連れる二列の珊瑚島より成り、東列をラタク諸島(日出島)、西列をラリク諸島(日没島)と云ふ。全部珊瑚島より成り、低平にして島の高さ三尺乃至十尺。内方は静水を湛えたる礁湖をなし、船舶の碇泊便なり。他の諸島と同じく椰子樹、パン樹、バナナ等を産し、コブラは主要輸出品なり。主島をジャライト島或はヤルット島と稱し、礁上にジャボールの市邑あり。

5. グアム島 マリヤナ諸島中の最大島にして、面積三十三方里人口約一萬。桑港マニラ間海底電線の中繼所にして、支線を我が小笠原島に通じ、東京より來れる我が海底電線と連絡す。千八百九十八年西班牙が戰敗の結果米國に讓渡したるものにして米國はこゝに貯炭所を設け、太平洋航路船の航海に便す。

6. 太平洋の海底電線

太平洋横斷海底電線(桑港—ホノル、(布哇—ミッドウェー—グアム(マリヤナ諸島)—小笠原島—ロルソン(フィリピン諸島)
太平洋斜斷海底電線 バンクーバー—フアンニング島—スバ(フィジー諸島)—ノー
フォーク島—ニュージールランド

教授上の注意

- 一、 兒童をして大洋洲には一も獨立國なきことを注意せしむべし。
- 二、 濠洲が英國の寶庫たることを明かにすべし。
- 三、 濠洲と我が國との貿易上の關係に注意すべし。
- 四、 布哇を授くる際は特に我が國との移民的關係に注意するを要す。
- 五、 赤道以北の太平洋上に於ける帝國發展の狀況は特に詳に説くべし。

六、 大洋洲に於ける主なる島嶼の位置及び交通を白地圖に記入せしむべし。

新定高等小學地理書模範教授案第一上卷終

大正十年五月八日印刷
大正十年五月五日發行



發行所

編者

株式會社 啓成社

東京市神田區三崎町三丁目一番地

發行者

株式會社 啓成社

土屋義行

東京市芝區愛宕町三丁目五番地

印刷所

愛生社印刷所

東京市神田區三崎町三丁目一番地(六辻通)

株式會社 啓成社

電話九段二四七四番
振替東京二〇五五番

兒童の心理的作新定高等小學地理模範教授案與附
用を應用したる 第一學年用上卷

定價金壹圓七拾錢

最高級の國漢字典!!

内容見本
要郵券貳錢

渴望せられたる「縮刷版」今や刊行せらる。

縮刷 大字典

文學博士 上田萬年
教授 岡田正之
教授 飯島忠夫
助學 榮田猛猪
文教科大學院 飯田傳一
助學 飯田傳一

大字典の編纂は學界の驚異と稱せられたるが、大字典の縮刷版は、その内容を、縮小して、紙質も、菊半裁判、紙張も、美木紙、印刷も、百餘頁、草字、附、詳、明、草、字、附、印、刷、定、價、四、圓、八、拾、錢、金、總、七、皮、圓、特、也、送、料、內、地、四、十、八、錢、朝、支、五、十、五、錢、菊、半、裁、判、紙、張、二、千、九、百、餘、頁、草、字、附、印、刷、定、價、四、圓、八、拾、錢、金、總、七、皮、圓、特、也、

東京市神田區三崎町 株式會社 啓成社
三丁目一番地
東京市神田區三崎町 株式會社 啓成社
三丁目一番地
東京市神田區三崎町 株式會社 啓成社
三丁目一番地

五先生共編

現代讀書界の權威

池邊義象先生著

古事記通釋

菊判總クローヌ上製美本函入四百五十頁

古事記三卷は我が國最古の典籍にして國民必讀の寶典也。しかれども其文難讀にして通讀に便ならず池邊先生これに概し其蘊蓄を傾けて本書を著はされたり。本書は夙に古事記通釋書の權威として尊重せられ、皇學館其他諸學校の教科書として採用の榮を賜へり。苟も古典研究者、文檢受験者は勿論何人も一讀せざるべからず。

元大藏省主税局員 延由編

五訂稅法便覽

袖珍美本三百七十頁 定價金壹圓貳拾錢 送料六錢

中村孝也先生著

元祿時代觀

菊判總クローヌ上製美本函入五百頁 定價貳圓八拾錢 送料拾八錢

元祿時代は實に近世文化史上の黄金時代也。本書はこの時代を盡して剩す所なく、陽春三月春風春水悠悠として紙上に躍るの感あり。著者は近世史研究の第一人者。才筆流麗第二の橋牛を以て目せらるる人、行文流暢情熱に溢る、幸に一讀の榮を賜へり。

市川禪海師著

袖珍殘花一輪

袖珍形總クローヌ上製函入美本六號 活字四百五十頁 定價金壹圓貳拾錢 送料六錢

著者日露ノ役に際し、軍艦初潮に乗じて風塵の旅順に向ひ盟友を失ひ、また初潮の沈むを見る。著者感憤病をつゝみ進んで九死に境に入り決死に至らざるなくつひに身隻脚を失ひ仰臥三年に及ぶ。幽悶やる所なく七度死を決して遂げ得ず大悟一番愛を削り佛門に入りぬ。本書は即ち著者が發心録にして波瀾萬丈なる半生の哀史歴々として巻中に見えり。

尾上柴舟先生著

柴舟かな帖

定價金壹圓五拾錢 送料六錢

柴舟尾上八郎先生は我國歌道の大家にして又書道界の權威なり。本帖は先生が得意の靈筆もて、古今集時代より新古今集に至る間の秀歌百二十餘首を平安朝盛時の書風に倣ひ今日の教養上の便を計り、極めて自然的に連綿游絲の妙をつくされたるものにして現代第一のかな帖たり。尚附録としてその讀方出所及大意をそへたり。

市川禪海著

木から落ちた猿

定價前篇貳圓 後篇貳圓七拾錢 送料市內六錢 地方十二錢

「殘花一輪」著者「花一輪」の著者の自叙傳出づ!! 曩に「殘花一輪」の著を公にし、日露海戦の裏面ニ氏が半生の哀史を叙し、滿天下諸士の愛賞措く能はざりしは世人周知のところに於て、版を重ねるに及んで九十餘回に及べり。而も著者其の後十有餘年の消息は如何?世人の等しく知らんと欲する所なりしが、氏は悠々自適風月を友とし専心専意を練り筆を磨し遂に八百有餘頁の自叙傳を草し畢り星の如く文壇に顯はれぬ。皆て燈谷小波氏が「氏の半生は小説よりも奇なり」と言ひしは、此書を翻く者の始めて了解し得る所、請ふ赤裸の氏が告白を聽け!!

天文・覽台

大字典

菊判三頁千三百頁 定價金貳拾圓 送料七錢

收載文字の莫大なる、字音、字形、字義の説明の至り盡せる、本邦にのみ用ひらるゝ特殊の發音及特訓を説くことの詳細なる、熟語總數十有萬の多きを算する、難讀の固有名詞數千を收めたる、同訓異義及辨似を細説せる、部首引劃引索引に加ふるに音訓引及數字引の便法を以てせる等これ本書の有する大特色にして、本書が幾多の國漢字書中に嶄然として頭角を現はせる所以なり。

索引其他詳見本代進呈

小澤林忠光著

和英化學工業語彙

袖珍形總クローヌ上製美本函入五百頁 定價一圓五拾錢 送料八錢

◎化學工業界多年の宿望は本書に據て満たさる

化學工業に關する字彙の刊行せられたるもの絶無に非ざるも凡て甚陳腐にして到底進歩せる今日の化學工業界に用を爲すに足らず。本書は著者が二十有餘年互に苦心編纂せられたる所に係り、現代の化學工業上必要なるあらゆるタクニカルタームを蒐めて、英、兩語を對照せり。内容完全、秩序整、加ふに裁瀟灑にして携帯に便なり。學、工業家に勿論一般學生の參考用として推薦す。

上田文學博士 岡田學醫院教授 飯島學醫院教授 柴田外國語學校教授 飯田一傳先生共編

東京市神田區三町三丁目一番(道辻六) 啓成社 電話九四七 振替東京五〇二五

啓成社 發行所 東京市神田區三町三丁目一番(道辻六) 電話九四七 振替東京五〇二五

現代讀書界の權威

美島近一郎先生著

衛生的的勉學法

本書は著者が多年の経験と學術の研究に基き青年學生の爲最も適切な勉學法を説きたるもの極めて實際的にしてその要を得たれば一度本書を讀んで之を活用するものは何人と雖も速に學力の進歩を得るは勿論受驗に望みて至極便利なり

美島近一郎先生著

青年體力増進法

本書は著者の深刻なる経験と博大な學識を經緯となし、十二三歳より廿五歳迄の青年を標準として積極的の體にまた消極的の體に於ける體力増進の法を詳述したるものなれば一度本書を讀み之を活用するものは必ずその體康を得るや必せり敢て之を天下の青年に薦む

農學士 大島正健先生著

國語 假名遣便法

大島正健先生夙に國語假名遣の亂れたるを嘆じ之が整理を力説して新界に先覺者を以て推さる、本書は即ち先生が苦心推考の結果に成り最も容易に假名遣法を知り得べき唯一の良著なり。敢て之を天下の國學者に薦む

文學士 中村勝麿著

井伊大老と開港

井伊大老の事蹟は今尙十分闡明せられずして世人の誤解少からず。中村先生多年苦心を積んで大老を研究し此著を成す。大老の忠君と熱誠は之に依り初めて明かなるべく當時の事情の真相は之に依り初めて知るべし

南博士、星野博士、大島學士、關莊司、鈴木、戸澤三學士共著

農家副業全書

本書は著者三農學士が各々専門の研究に従ひ苦心編纂せられたるもの、最新の學理と多年の経験に基き、全文ふり假名の付口語體を以てあらゆる副業に關する實際を詳述したれば何人も之を一讀して直ちに活用するを得可く、實に農家必携の寶典なり

福本日南先生著

袖元祿快舉錄

本書は文壇の勇將福本日南先生が筆を振つて赤穂四十七士の實錄を詳述せしもの、行文流暢、情趣甚濃、一讀烈士の風貌に接する感あり、發刊以來版を重ねること數十、縮刷以來又既に二十有版に及べり天下無二の快著なり

模範的教授案の提供

児童の心理的作
用を應用したる
高等小學地理書模範教授案

高等二年用

(刊新最)

速にか御用意あれ

地理の教
材は頗る
廣汎を蒐
集之を蒐
集整理す
難なり本
書は特に
教材の解
説に注意
用ひたり

菊判大和綴本文九ポイント新鑄
活字組三百六十頁挿繪統計入
定價金貳圓 送料市內六錢
市外地方拾錢

本書は大正十年度より新に使用せらるべき文部省著作高等小學第二學年地理書に從來地理書として編纂せられたるものにして、其の特色は上部に掲げたる如く、從之が解決の項目を立て、各教材毎に教授要旨、材料の蒐集整理を完全にするに、参考解説等の項目を立て、尋常の増進を計るに努めたるは、謂ふ迄もなく、兒童の注意、狀態を考慮して實際の能率の増進を計るに努めたるは、謂ふ迄もなく、兒童の注意、教養に努むべきなり。尙高等第一學年用の分は印刷中につき不日發賣可致候

發兌元

東京市神田區三崎町三ノ一
振替東京一〇五五電話九段二四吉

株式啓成社

發行所 東京市神田區三崎町三日一 電話九段二四吉 啓成社

2636
39

書用考參校學小

啓成社編 兒童の心理的作 用を應用したる 新定尋常小學地理書 模範教授案 五學年用	國民教育 研究会編 形式の解説を 主としたる 國語教授日案	國民教育 研究会編 形式の解説を 主としたる 高等小學讀本 教授書	啓成社編 兒童の心理的作 用を應用したる 新定尋常小學地理書 模範教授案 六學年用	岩瀬甚藏 先生著 小學教授法要義	若月秀吉 先生之助 關根丑之助 先生共著 尋常兒童理科 實驗の指導	普通教育 會社編 小學校に於ける 會合教育の實際的 施設	米津探元 先生著 教員必讀 學の眼
菊判和裝上製 全一冊三百卅頁	菊判和裝美本 全十二冊	菊判洋裝美本 全四冊 各四百五十頁	菊判和裝上製 全一冊五百十一頁	菊判總クロー 二本全餘一頁冊	菊判洋裝 全一本挿繪入 一冊百餘頁	菊判總クロー 四本全餘一頁冊	四六判總クロー 四本全餘一頁冊
定價金一圓五十錢 送料金八錢	定價各冊 金一圓二十錢 送料各冊金十錢	定價卷三、四、 各一圓二十錢 送料各冊金十錢	定價金一圓八十錢 送料金十錢	定價金七十五錢 送料金八錢	定價金六十錢 送料金六錢	定價金壹圓 送料金八錢	定價金八十五錢 送料金八錢

發行所 東京市神田區三崎町三丁目一番五〇二番 電話九四二七四番 啓成社

終

